

40 ORCHESTRAS

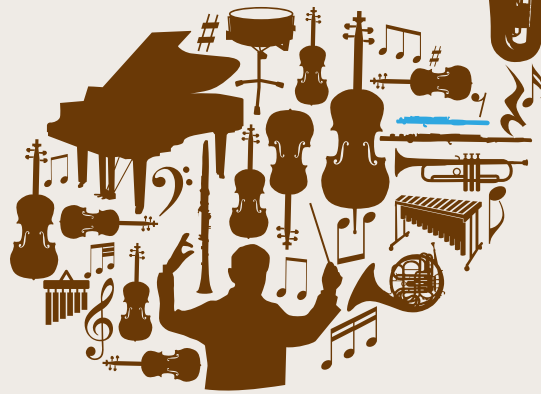
日本オーケストラ連盟ニュース

加盟オーケストラ コンサート情報 2025年 8月～11月



Vol.117

オケ連35周年!そして未来へ



NHK 交響楽団が「マラー・フェスティバル 2025」に登場！公演の様子は NHK の放送や オケ連ニュース次号などをお楽しみに！

Contents

オケ連35周年！そして未来へ	2
オーケストラの日2025	4
追悼 秋山和慶マエストロ	5
明日を担う音楽家たち2025	6
オーケストラ音楽を 子どもたちに届ける意義とは— 飯田 有抄	8
オーケストラ 連帯の軌跡 ⑦— 野宮 珠里	9
大阪4オケ-大阪・関西万博開催記念-	10

プロフェッショナルオーケストラのもう一つの顔	11
日本センチュリー交響楽団 「ハイドンマラソン」完走!	11
マレーシアとアメリカより ～2つの国際会議に参加～	12
東京フィルハーモニー交響楽団 ドバイInClassica国際音楽祭へ	13
News & Topics	13
Concert information	14
インフォメーション	24

オケ連35周年! そして未来へ



1990年7月、18のオーケストラによる任意団体として発足した「日本オーケストラ連盟」(オケ連)は、今年創立35周年を迎えました。2012年8月には公益社団法人へと移行し、現在では正会員27団体、準会員13団体、合計40団体が加盟する、日本で唯一のプロフェッショナル・オーケストラによる公益法人に成長。オーケストラ文化のさらなる普及と振興、わが国の未来を育む社会貢献活動に取り組んでいます。

オケ連35周年を記念する様々な事業をご紹介します。

オケ連35周年 記念プロジェクト

※複数年継続事業

次の世代に持続可能な未来を残すため、私たちプロフェッショナル・オーケストラに求められる社会的役割や責任はますます大きくなっています。オケ連加盟の40のオーケストラが、国内トップレベルの芸術文化団体として高い芸術性と豊かな個性を発揮しつつ、それらの社会的責務を果たしていくための基盤整備、さらには国内外に向けたオーケストラ文化の発信力強化(リブランディング)に取り組めます。

1. 日本のオーケストラを発信する

統括団体としての発信力強化と リブランディング

- オウンドメディアによる情報発信
- 公式ウェブサイトのリニューアル
- オーケストラへのアクセスが容易になるチケット購入の仕組み検討

など

2. オーケストラの持続可能な 活動基盤を強化する

マネジメント及び専門職の 持続的な人材確保と育成

- 団体、組織を超えた「同職種」「同世代」交流および研鑽機会の創出
- セカンドキャリア人材の活躍の場の創出
- コンプライアンス研修等によるガバナンス強化支援

など

オーケストラの響きを街々へ オーケストラ・キャラバン

7月より開催中!

オーケストラ・キャラバン特設サイト
<https://www.orchestra.or.jp/caravan2025>



「オーケストラ・キャラバン」は、オケ連加盟のオーケストラが自らの活動拠点を飛び出し、全国各地で質の高い公演を継続的に実施する取り組みです。国内における文化的な地域格差の解消、また音楽を通して生み出される“対話”と“交流”による地域の活性化促進を目的とし、文化庁のご支援を得て令和5年度から実施(コロナ禍からの文化芸術活動の再興を目的として令和3～5年度に実施された大規模な「アートキャラバン事業」の後継事業)しています。2025年度も8団体が全国10都市で“キャラバン”ならではの個性的で魅力たっぷりのコンサートを繰り広げます!



写真左:2024年仙台フィル盛岡公演の様子/写真右:2025年群馬交響楽団上田公演



アジア太平洋地域 オーケストラ・サミット2026

日程 2026年3月30日(月)～4月1日(水)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室 他

「オーケストラ」は18世紀頃にヨーロッパで花開いた西洋の文化ですが、今では全世界の多くの国にプロやアマチュアのオーケストラが数多存在し、多彩な活動を繰り広げています。もちろんアジア太平洋地域も例外ではありません。

1997年から2018年にわたって、日本オーケストラ連盟が旗振り役となり、アジア太平洋地域で活動するプロフェッショナル・オーケストラ同士の交流や情報交換、国ごとのネットワーク構築を目的とした「アジア太平洋地域オーケストラ・サミット」を継続的に開



催(計12回)いたしました。コロナ禍により一時中断していましたが、今年度、オケ連創立35周年記念事業の一環として7年ぶりに開催します。

世界を取り巻く様々な問題に対し、オーケストラ文化が人類の共通言語としてその力を発揮することを信じ、平和を希求する取り組みの一環として、オケ連は今後も「オーケストラ・サミット」を推進していきます。



写真:2008年第6回
オーケストラ・サミット(上海)

オーケストラの日 ALL STAR!!

日程 2026年3月31日(火) 会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

3月31日は「オーケストラの日」。「ミミにイチバン」のキャッチフレーズもすっかりお馴染みになりました。毎年この日に開催している首都圏13団体合同オーケストラによる「オーケストラの日」特別コンサートを、今年度は35周年を記念したスペシャル版として開催します。名付けて「オーケストラの日

ALL STAR!!」。全国40団体のメンバーが参加する特別編成オーケストラによるコンサートをはじめ、0歳から入場可能な無料のミニ・コンサート、オーケストラ紹介ブースなど、大人から子どもまで家族みんなで「オーケストラを丸ごと味わう」イベントを開催します。



ロビーコンサートやオーケストラ紹介ブースで大賑わい
(オーケストラの日2008の様子)

令和7年度(第80回)文化庁芸術祭主催公演

アジア オーケストラ ウィーク 2025

詳しくはこちら▶

アジア オーケストラ ウィーク2025特設サイト
<https://www.orchestra.or.jp/aow2025>



「文化庁芸術祭」は、1946年から毎年開催されている芸術の祭典です。アジア太平洋地域最大規模の“プロフェッショナル・オーケストラの祭典”である「アジアオーケストラ ウィーク」は2002年に始まり、その後「文化庁芸術祭」の主催公演としてこれまでに16の国と地域から各国を代表するオーケストラがのべ60団体以上参加。各国の豊かな文化伝統に育まれた彩り豊かな熱いサウンドをお届けしています。

「アジア オーケストラ ウィーク」は単なる国際的なクラシック音楽イベントに留まらず、オーケストラという、大きな可能性に満

ちた世界共通の文化装置(財産)によって、アジア太平洋地域に暮らす人々の相互理解や共感を促す未来志向の取り組みなのです。



兵庫芸術文化センター管弦楽団

指揮: 出口大地、ピアノ: 小山実稚恵

日程 2025年10月4日(土)

会場 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

香港フィルハーモニー管弦楽団

指揮: リオ・クオクマン、ピアノ: 反田恭平

日程 2025年10月13日(月・祝)

会場 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

日程 2025年10月14日(火)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

シンポジウム

「広がりゆくアジアのオーケストラ市場」

日程 2025年10月12日(日)

会場 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

香港フィルのみなさんに会いに行きました!

2025年度の「アジア オーケストラ ウィーク」(AOW)は、香港フィルハーモニー管弦楽団が初登場!今年度から関西フィルハーモニー管弦楽団のアーティストック・パートナーに就任し、日本の音楽ファンにも一躍その名が知れることとなった常任指揮者リオ・クオクマンとともに、香港ならではの国際色豊かでダイナミックなサウンドを聴かせてくれるはずだ。

6月の最終週、香港フィルへのAOW招待状授受および公演に向けたスタッフとの打ち合わせのため、香港フィルの本拠地である「香港文化センター」(Hong Kong Cultural Centre)を訪れました。

ベイサイドにそびえ立つ、1989年に建てられた香港の芸術の殿堂は、日本ではあまりお目にかかれない円形の客席と舞台が印象的な、雰囲気も音響も素晴らしいホールでした。総勢100名を超えるという香港フィルのスタッフはみなさんとても明るく、ポジティブなオーラに溢れていて、何より素晴らしいチームワーク若い女性がたくさん活躍しているのも印象的でした。こういうところにアジアのオーケストラの「勢い」を感じます。夜の定期演奏会では、次期音楽監督タルモ・ペルトコススキの指揮で凄まじい熱量がほとばしるワーグナーの快演を聴かせていただきました。

香港フィル在籍28年の日本人ヴァイオリニスト田中知子さんは、「今回の公演で日本で演奏することも、また香港でも大人気の反田恭平さんと共演できることも、メンバー一同本当に楽しみにしてるんです!」と嬉しそうに語っていただきました。



香港フィル事務局のみなさんと(香港文化センターホールにて)

初共演!歌手とオーケストラの日祝祭管弦楽団

オーケストラの日

2025.3.31 東京文化会館

指揮/太田 弦

ソプラノ/清野友香莉 テノール/城 宏憲

J.シュトラウス2世:『こうもり』序曲

『こうもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」

ドニゼッティ:『愛の妙薬』より「人知れぬ涙」

ヴェルディ:『リゴレット』より「慕わしい人の名は」

プッチーニ:『トスカ』より「星は光りぬ」

ヴェルディ:『椿姫』より「乾杯の歌」

ベートーヴェン:交響曲第7番

写真:藤本 史昭



今年も3月31日に東京・上野で「オーケストラの日」を開催した。桜が咲く季節とは思えないほどの寒さの中、今年もたくさんの方にご来場いただいた。

今回は「オーケストラの日」初、歌手の方にご登場いただき、首都圏オーケストラで特別編成された「オーケストラの日祝祭管弦楽団」と共演した。

当初ご出演を予定していた指揮者の秋山和慶氏が誠に残念ながら1月に逝去されたため、太田弦氏にご出演いただいた。公演前には秋山氏の追悼のため、エルガー:

『エニグマ変奏曲』より「ニムロッド」を献奏した。

また、昨年のオーケストラの日の会場でお預かりした能登半島復興支援への浄財で、首都圏オーケストラ・アンサンブル金沢からの合同メンバーにより編成したアンサンブル公演を輪島へお届けしたことのご報告のため、オーケストラの日祝祭管弦楽団にはオーケストラ・アンサンブル金沢の楽員3名が参加した。

毎年恒例となった大ホールロビーでのオーケストラ広場でも、参加オーケストラの紹介

ブースの他、オーケストラ・アンサンブル金沢が能登の物産品を販売。千葉からはチーバくんが参加するなど今年もオーケストラと来場者がふれあう様子が見られた。

小ホールでは、ヴァイオリンとチェロとピアノによる「0歳からのコンサート」を開催した。終演後にはヴァイオリンとチェロの楽器体験を小ホール内で行い、100名を超える子どもたちが参加した。体験後には「自分のからだに楽器の音が伝わるのがおもしろかった」「もっと弾いてみたいと思った」と目を輝かせながら語っていた。



追悼

秋山和慶マエストロ

「お別れの会」も終え、半年も経っているというのに、1月26日の訃報を未だに信じられない方も多いのではないのでしょうか。

「9月頃には何事もなかったように振っている気がします。」と、廣岡克隆さん（東京交響楽団専務理事・楽団長）。秋山マエストロについて沢山の心に残るお話を伺いました。

（6月17日日本オーケストラ連盟事務局にて 文責／名倉）

東京交響楽団へ入ったのは大学を卒業した年（1998年）でした。

リハーサルで初めて秋山先生にお会いした時は、おお秋山先生だと芸能人を目の当たりにした時の様に興奮したのを覚えています。温かく迎え入れて下さいました。

オーケストラでの経験もないまま、いきなりアシスタントコンマスで採用され、何も分からず、大大先輩たちの視線に恐怖しているような状況でした。そんな中、無理な練習で調子を崩す時もありましたが、先生は気づかないふりをしてくれました。それに救われ逃げずに、前向きに音楽に取り組むことができたので、今があると言えると思います。

人の上に立つ大きさを感じさせる方で、いつも笑顔で温和で、しかし、目の奥にはいつも刺すような厳しさがありません。

秋山先生が東響にいらした1960年代初頭の話はベテラン楽員から伝説の様に聞いています。経営破綻という東響の危機を秋山先生と共に乗り越え、そして60年も、オーケストラと一体になって歩まれたのは凄いことです。東響はファミリー的だと言われますが、その礎は苦楽を共にした秋山先生が築かれました。

名実ともに押しも押されぬ巨匠ですが、どんな状況でも「変わら

ない」方でした。海外公演でも学校の体育館でも、プロでもアマでもまったく変わらない。どんなに難しい曲でもビビリすることがなく、明快に簡単そうに振って、みんなを集中させることができる。指揮台に立っただけで自然な緊張感があり、温和なのにリハーサルの緊張感もだれることがない。音楽に誠実で決して威張る事のない方でした。

普段から饒舌ではなく、人が何か面白い事を行っているのを見て笑っていらした。スコアにちょっとしたミスが挟まれているのを見つけたときも、誰だよと笑いながら振っていらした。どこで何を振っていらしても常に新しいことを学び取ろうとされていました。同じことをやるのだけれど、新しいことをやろうとする情熱。その情熱で、秋山先生は常にご自身よりもオーケストラを優先されていました。それは晩年になっても変わらない熱量でもって、東響を少しでも良くしたい、というお気持ちを強く持って下さっていたのです。東響の奏者のことを何よりもとても想って下さっていて、それを奏者もよく分かっていました。

廣岡克隆

1974年生まれ。兵庫県神戸市出身。東京藝術大学卒業。東京交響楽団コンサートマスターとして秋山マエストロと初演ものも多く演奏した。2022年8月より専務理事・楽団長。



デビューのころの秋山先生

創立40周年記念中国公演（1986年9月19日）



シェンベルク：歌劇「モーゼとアロン」
第400回定期演奏会（1994年1月30日）



ラッヘンマン：歌劇「マッチ売りの少女」
第467回定期演奏会（2000年3月4日）



明日を担う音楽家たち 2025

新進芸術家海外研修制度の成果

2025年2月27日(木) 会場：東京オペラシティコンサートホール
指揮：高関 健 オークストラ：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



一夜限りの四つの協奏曲

文：林 昌英 (音楽ライター) 写真：藤本 史昭

文化庁が実施する「新進芸術家海外研修制度」は、若手の芸術家を継続的に海外に派遣し続け、昭和42年からこれまで約3800名を超えるアーティストが学びの機会を得てきた。その成果を広く伝える公演として、「明日を担う音楽家たち」が毎年開催されている。今年は4名の新進演奏家がソリストとして登場し、高関健指揮の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演した。



最初に登場したのはオルガンの**本田ひまわり**。フランスのアルザスで研修した本田は、演奏機会の稀少なエン

リコ・ボッシのオルガン協奏曲イ短調を取り上げた。本田は穏やかな旋律を温もりある音色で奏で、要所では深く豊かに楽器を鳴らす。音色の選択やパイプの響かせ方までが、そこはかとなくフランスの教会を思わせる色彩を帯びているのが興味深い。すでにオルガンで自分の音色を作れて、魅力的な演奏を実現しており、オーケストラとの経験も積むことで幅広い活躍が期待できる。

なお、この日の東京シティ・フィルは、ゲストコンサートマスター会田莉凡やチェロ首席奏者の大友肇を筆頭に、どの曲も充実のパフォーマンス。殊に本作での弦楽器のソロ・

ソリの美しさはすばらしく、指揮者とオーケストラの本気度の高さと共に特筆しておきたい。



2人目はピアノの**原田莉奈**。ベルリンで学び、ウィーン出身のゴットリープ・ヴァリッシュに師事。師からの影響を意識して選んだという曲は、モーツァルトのピアノ協奏曲第23番。モーツァルト作品を舞台で弾くのは約10年ぶりとのこと。ごまかしのきかない名作に正面から挑み、なめらかなアーティキュレーションで温かい音を響かせて、やさしく奇をてらわない演奏は好感を与えた。この日は作品へのリスペクトから「正



“明日を担う”芸術家たちへ

私は94年秋から95年夏まで文化庁海外研修制度で、英国に一年間滞在致しました。私自身は日本の伝統芸能の分野の者ではありますが、海外に出ることによって、世界の中の日本を見つめ、世界の中の能狂言を考え、その共通性と特殊性を見出す機会になりました。

日本の中にいて日本を見るのではなく、世界から日本を見ることはとても重要だと感じます。それによって、自分の或いは日本のアイデンティティとは何かを考えるきっかけになります。

インターネットで世界が繋がっているグローバ

リゼーションの中でも、海外に出ることで、自分のアイデンティティを確立し、人類の何が共通で何が違うのか、そして日本人の個性、自分自身の個性を認識する貴重な体験だと思います。

是非若いアーティストの皆様へ海外研修制度を活用して、自身のアイデンティティを確立していただきたいと思います。

狂言師

石川県立音楽堂アーティストティック・クリエイティブ・ディレクター

野村萬斎



攻法」にこだわったようだが、内面の欲求と表現法が真に一致したとき、新たな次元に到達しそうなポテンシャルは十分に感じられ、今後も期待したい。



3人目のピアノの青島周平は、パリで研鑽を積み、演奏と共にエクリチュール科での楽曲分析でも多くの知見を得たという。その知的なアプローチから生み出される音色は清冽。この日はプロコフィエフのピアノ協奏曲第3番を選び、難曲にも関わらず落ち着いた佇まい、クリアで切れのある音で、勢いに頼らず丁寧な演奏を作り上げた。ことに第2楽章の緩徐な場面における、クリスタルのような怜悧な美音は出色のものだった。高関とオーケストラはすばらしい熱演で迫力も十分、「このくらいのオケの音には負けられないように」と青島に舞台で伝えるかのような趣すらあり、



最後はチェロの山根風仁。英国からベルギーに学び、「歴史的演奏研究」に取り組む山根は、ガット弦のヒストリカル・チェロ奏者として欧州でも活動を展開。作曲当時の美学を研究し、照らし合わせることから生まれる“美しさ”とは何かを探究し続けている。この日はシューマンのチェロ協奏曲で、楽器を両足で挟み、開始2音のポルタメントのかけ方だけで、19世紀の演奏習慣に則った解釈であることを端的に示した。ガット弦の音色は物理的には

この日最も音量が小さかったはずだが、すぐに会場の響きにアジャストし、ホール隅々まで音が届く。山根は昨秋にはベルリンRIAS室内合唱団の日本ツアー公演の低音を担当しており、アーティストとして先行した存在であることが、この日のシューマンでも改めて示された。

新進の奏者にとって、オーケストラとの共演はこの上なく貴重な機会。本制度は、研修への助成に加えて、大ホールでのオーケストラ共演の機会が用意されることも大きな特長で、その意義と成果のほどは今年の4名の演奏にも明確に現れていた。聴衆にとっても、フレッシュな俊才たちの演奏で、様々な協奏曲を楽しめる貴重な時間。今後も長く継続してほしい。

主催・制作：公益社団法人日本オーケストラ連盟

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成）） 独立行政法人日本芸術文化振興会



青島 周平

プロコフィエフ／ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26



山根 風仁

シューマン／チェロ協奏曲 イ短調 Op.129

オーケストラ音楽を 子どもたちに届ける意義とは



飯田 有抄

(クラシック音楽ファシリテーター)

オーケストラ音楽の圧倒的な衝撃

見知らぬ大人たちが大勢やってきた。手には何やら大小さまざまな楽器を携えている。そして中央に立った指揮者がひとたび手を振り下ろすと、一気に音の波が空間全体へと広がり、あっという間に全身が大きな響きに包まれる。振動が足裏からもやってくる。目の前では大人たちがみんな一心に楽器を奏で、音の流れを生み出してゆく。音は空気の振動だ。振動は鼓膜にも皮膚にも伝わり、脳・心を刺激する。

オーケストラの響きを初めて体感する子どもたちは、こうした一連の出来事をどう捉えるだろうか。最初は目の前で繰り広げられていることに圧倒されるかもしれない。それを「感動」と言えるかどうかはわからないし、「楽しい」かどうかという判断もつかないだろう。ただ、そのように意識化・言語化される以前に、体全体で何か圧倒的な情報量に晒されていることは実感しているはずだ。オーケストラの生演奏との出会いは、子どもたちにとって、ある種の異文化体験と言える衝撃かもしれない。



日本フィルハーモニー交響楽団の学校公演の様子

「データ」ではなく「体感」を

もちろん、私たちの日々の暮らしには西洋音楽由来の文化が根付いているし、子どもたちとて「オーケストラ的な響きの何か」にはどこかで触れていることだろう。また、新しいことや初めて見聞きすることは、音楽に限らず、子どもたちの日々の暮らしの中にはあふれているに違

いない。だが、日常生活で会う「新しいもの」とは、今や何らかのメディアを通じてのものが多くではないだろうか。近年ではスマートフォンやタブレットの使用が日常的となった。さまざまな「データ」に、だれもがいつでもどこでもアクセスできる。その意味で学びの窓は、だれにでも平等に開かれている。

しかし、何か圧倒的な「体感」を得る機会はまだ必ずしも誰もが得やすいものではない。オーケストラの生演奏もその一つだ。オーケストラという西洋の伝統文化の一形態に、取り立てて触れることなく一生を送ることだって可能だ。家庭によってはまったく無縁ということもあるだろう。だからこそ学校や教育団体のネットワークを通じ、あまねくオーケストラ体験に出会ってほしい。そうした願いのもと、学校巡回公演などの充実した取り組みが続けられている。

西洋音楽のもつ調和へと向かう ダイナミズム

ではなぜ、子どもたちにオーケストラの音楽を届けるべきなのだろうか。冒頭の話に戻るが、それが「圧倒的な情報量に晒される異文化体験」であるからだ。近年の鑑賞教育ではわかりやすい解説や参加型のアレンジがなされ、より親しめるようにさまざまな工夫が凝らされている。それでもきっと、子どもたち一人一人が感じることは「全員一致」ではない。最後まで「正解」の見えない豊かさがある。音楽の魅力はまさにそこにある。

自分の生活からは離れた、遠い異国の、何百年も昔の人たちが作り出したもの。そこには幾重にも織り重ねられる音色の調和があり、不協和から協和、緊張と弛緩へと向かうダイナミズムがある。その中でグッと心を掴まれる瞬間もあれば、何が起きているのかよくわからない

瞬間もある。それが自然だ。その状態をこそ、目の前で真剣にアンサンブルを紡ぎ出す大人たちの演奏を通じて、しっかりと味わってほしい。

多様性の時代に培われるべき想像力

「多様性の時代」と言われる今、価値観や風習の異なる文化や人々を知り、受け入れようとする流れはある。だが実際のところ、そう簡単にはいかないこともある。人のものの見方とは、いとも容易く固定化しがちなのだ。だからこそ、凝固まりがちな思考に揺さぶりをかけ、ほぐし、想像力を刺激してくれるものとして、多様な芸術に触れることが大切である。遠い異国の音楽芸術に触れながら、どこかで自分と共鳴する部分を見つけて、「自分ごと」の体験として心を寄せる。そうした営みは、大袈裟ではなく、他者に対する想像力や思いやりを育み、多様化する社会での調和のあり方を模索するヒントを与えてくれるだろう。

音楽を子どもたちに届けることで何かわかりやすい“効果”が早急に見えるわけではない。しかし生々しく体感したこと、聴覚・視覚・触覚として強烈に知覚したことは、きっと記憶の中に蓄積される。それが子どもたちの生きる力として芽吹くことを確信しながら、その種まきを続けていきたい。

クラシック音楽への招待

～子どものための50のとりら～

飯田有抄 著 (音楽之友社 刊)



オーケストラ 連帯の軌跡 ⑦

日本芸術文化振興会企画部プログラムオフィサー
野宮 珠里

連帯は危機感から生まれる。

オーケストラは大きな問題に直面するたび、ライバル同志の楽団が連帯し、時には新たな組織を作って対応に当たってきた。日本オーケストラ連盟の前身である「東京オーケストラクラブ」が1964年に始動したのは、東京交響楽団の存続の危機や東京都交響楽団設立がきっかけであったし、「地方交響楽団連盟」(地響連)が設立された1972年は日本フィルハーモニー交響楽団の危機が社会を揺るがせた年であった。1978年に東京オーケストラクラブから「日本交響楽団連絡会議」(交響連)に改組するきっかけは東京文化会館の休館問題であった。

では、地響連と交響連が合同し、1990年に全国組織の「日本オーケストラ連盟」設立に至った背景はどのようなものであったか、社会状況の変化を振り返ってみたい。

空前の「来日ラッシュ」

1980年代後半、日本はバブル景気に沸き、音楽プロモーターは円高を追い風に海外からオーケストラやオペラ団体等を相次いで招聘。空前の「来日ラッシュ」が起こり、特に在京のオーケストラは危機感を募らせていた。当時、音楽業界の親睦団体であった「日本音楽マネージャー協会」(マネ協、現・日本クラシック音楽事業協会)には多くのオーケストラ団体が加盟しており、まさに「呉越同舟」の状況の中、オーケストラ側から不満が表明される場面が少なからずあったようだ。例えば1985年の総会では、オーケストラ側が翌年の外来ラッシュに触れて「日本の音楽界の実情を無視したもの」と苦情を表明。意外にもマネージャー側からの反論はなく、むしろ「首の締め合いではないか」という指摘にうなずき、度を過ぎた招聘の弊害について認識の一致が認められたという(『音楽芸術』1985年11月号、「来日オーケストラ・ラッシュへの対応」嶺隆)。しかし両者の利害の不一致は明らかで、多くのオーケストラは、後に

マネ協から脱退している。

冠協賛から助成財団設立へ

経費がかさむ来日公演は、企業協賛を得て、いわゆる「冠コンサート」の形を取るものが多かった。日本のオーケストラでも「冠」の恩恵を受ける公演は少なくなかったが、芸術活動の支援より企業のPR効果を重視した冠協賛は、イベント的な要素が強くなり、一般の耳目をひく「興行」的な公演で存在感を増した。見世物的で芸術的な内容が薄い、法外なギャラで招聘し出演料の相場を壊しているといった批判や、協賛金収入が聴衆に還元されず、あからさまな企業PRがコンサートの雰囲気損ねているといったマイナス要素が多く指摘されるようになる。

一方で、民間企業が財団を設立し、芸術文化活動を支援しようという動きも活発になる。特に1988年に日本たばこ産業株式会社の出捐によって設立された「財団法人アフィニス文化財団」は助成対象をオーケストラ関連に特化した点が注目された。また企業による芸術文化支援(メセナ)活動の活性化を目指した「企業メセナ協議会」が1990年に誕生している。

定期演奏会会場の変更

1988年、在京オーケストラの危機感をあおったのが定期演奏会の会場問題であった。当時、NHK交響楽団を除くほとんどの在京オーケが東京文化会館で定期演奏会を開催していたが、同年4月に同会館から「今後はオペラやバレエ公演を優先させる」という突然の通告を受けた(『音楽芸術』1992年2月号、「サバイバルを計る日本のオーケストラ」近藤滋郎)。

折しも新たなホールが都内に相次いでオープンし注目を集めていた。多くの在京オーケが1986年にオープンしたサントリーホールへ定期演奏会を移し、東京フィルハーモニー交響楽団は1989年開館の東急 Bunkamura



1989年7月10日にサントリーホールで開催された
新星日本交響楽団第120回定期演奏会
＝「新星日本交響楽団20年史」から転載

オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。1990年開館の東京芸術劇場では、日本フィルハーモニー交響楽団や新星日本交響楽団が新たな演奏会シリーズを行うなど、公演会場が分散することになった。その結果、新たな客層の開拓や、それまで画一的といわれた各オーケストラの個性が育まれることとなり、ピンチはチャンスに変わった。

芸術文化振興基金の誕生

1989年7月、宇野内閣が政府と民間の共同出資による3千億円規模の芸術文化振興基金構想を発表する。その後大きくスケールダウンするものの、1989年度補正予算に同基金を創設するための政府出資金500億円を計上し1990年3月26日に予算が成立。基金を国立劇場内に作る国立劇場法を改正する法律も同年3月30日に公布され、「芸術文化振興基金」が誕生した。

1989年度の文化庁の「民間芸術等活動費補助金」は7億2千万円にまで減少していた。民間からの寄付100億円と合わせ計600億円の基金の運用利益30億円で助成するという新制度に対し、運営資金不足に悩む芸術団体が大きな期待感を持ったのは言うまでもない。

ダイナミックな環境の変化の中で、1989年、以前から交流を深めていた交響連、地響連の合同会議が行われ「全日本オーケストラ連盟」結成が全員一致で決定された。

(文中敬称略)

*文中記載以外の主な参考資料

- ・「音楽年鑑」昭和60年版～1991年版(音楽之友社)
- ・「演奏年鑑」1985～1991(日本演奏連盟)
- ・「音楽芸術」1991年4月号 特別座談会「日本のオーケストラの新たな方向をさぐる」

大阪4オケ²⁰²⁵

—大阪・関西万博開催記念—

文：小味渕彦之（音楽評論家）

写真：（公財）朝日新聞文化財団提供、樋川智昭撮影

フェスティバルホールの春の風物詩「大阪4大オーケストラの響演」が今年も開かれ、「第63回大阪国際フェスティバル2025」の1公演として催された。昨年は「6オケ」に拡大されたが、今回は従来の4つに戻しての開催。「大阪・関西万博開催記念」と銘打たれ、各オーケストラには日本人作曲家の作品と、国を違えた、まさに万国の作曲家の多彩な曲目が並んだ。

大阪フィルハーモニー交響楽団



一番手は大阪フィルハーモニー交響楽団。音楽監督の尾高忠明が指揮をして、武満徹の《「波の盆」組曲》とブリテンの歌劇「ピーター・グライムズ」より《4つの海の間奏曲》が演奏された。しっとりと武満のテレビドラマの音楽に基づく響きが連なり、とてもロマンティックな表現になった。イギリスの作曲家であるブリテンの名曲は、弾力を持ちつつも、しなやかに浮かび上がる。精妙に構築され、最後は決然と締めくくられた。尾高は武満のことを「ものすごく愛情深い人」と言い、エルガーは一番愛されている作曲家だけれど、ブリテンは英国で一番の天才と形容した。

関西フィルハーモニー管弦楽団



2番目に登場したのは、関西フィルハーモニー管弦楽団。一昨年から首席客演指揮者を務める鈴木優人がタクトを握り、まずは

萩森英明の《東京夜想曲》。「4人の指揮者によるニュークラシックプロジェクト」で選ばれた作品で、鈴木が2023年に初演している。「東京の夜をテーマに、常に変化し続ける街を色彩豊かに描いた」とのことだが、演奏後に登壇した萩森が「大阪で東京と名の付く作品をやっていいものか」と言ったのが面白かった。確かにアウエイには違いなかったが、豊かな色彩感を持つこの作品が、こうして大阪初演された意義は大きい。そして圧巻だったのがバーンスタインの「ウエスト・サイド・ストーリー」より《シンフォニック・ダンス》だ。弦楽器も含めて立ち上がっての〈マンボ〉の狂乱に圧倒された。こちらは、もちろんアメリカの作曲家。

大阪交響楽団



休憩を挟んで、大阪交響楽団が登場。常任指揮者である山下一史の指揮で、まずはドイツのR・シュトラウスの《交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」》が鮮やかに響き渡った。活き活きとしたリズムが弾んだ。そして晩年にこの楽団でミュージックアドバイザー、名誉指揮者を歴任した外山雄三の《管弦楽のためのラプソディ》。山下のエモーショナルなタクトにより、オーケストラが凄まじいエネルギーを生み出した。こ

の日は外山雄三の誕生日に当たり、思い入れもたつぷりな演奏になった。

日本センチュリー交響楽団



最後は日本センチュリー交響楽団で、今年度から音楽監督に就任した久石譲が指揮を担う。まずは自作の《Adagio for 2 Harps and Strings》。ミニマルな書法から浮かび上がる無機質な部分に、フレーズが持つ揺らぎが加わって、独自の味わいが生まれた。最後はロシアのストラヴィンスキーの《バレエ組曲「火の鳥」》が、あえて1945年版を選んでの演奏。通例の1919年版にはない部分も多く、オーケストレーションも異なるが、久石は一つひとつのフレーズを丁寧に確かめて音楽を連ねた。ザクザク響きが切れるフィナーレは、この版ならではの味わいだ。

それぞれのオーケストラの演奏の後は、朝日放送テレビのアナウンサーである堀江政生が登場し、各指揮者とのトークを繰り広げた。各楽団主催の定期演奏会等のチケットがプレゼントされる抽選もあり、今年も満員の客席が最初から最後まで、4時間弱にわたって大いに盛り上がったコンサートになった。

プロフェッショナルオーケストラのもう一つの顔

【山形交響楽団】

山形県は4つの日本遺産を有するなど（東北6県で最多!）観光資源の宝庫です。“食と温泉の国のオーケストラ”を掲げる山響は、山形の観光・食の魅力を広く発信し、観光誘客に貢献することをミッションとしています。

さくらんぼコンサート…コンサートホールで“山形”を体験する

2003年から続くさくらんぼコンサート。山形県や市町村と連携し、さくらんぼが最盛期を迎



東京公演での物産展の様子

える6月に東京・大阪で開催しています。日本一を誇る山形のさくらんぼを中心に、東京オペラシティのロビーでは山形物産展を開催。大阪ザ・シンフォニーホールでは、物産展に加え東根市の協賛によって来場者全員へさくらんぼをプレゼント。毎年大変に賑わいを生む本公演では、山響の演奏とともに、山形の魅力を体感できる機会を創造しています。

35市町村 Thanks プロジェクト…山形の魅力を発信!

コロナ禍の2020年、混沌とした社会情勢の中で、“歩みを止めない”をテーマに、いち早く配信に着手。演奏だけでなく山形の様々な観光地や人にクローズアップした映像を製作・配信。創立50周年を迎えた2022年から“YAMAGATAと世界を結ぶHubとなる”をテーマに活動を再編。山響は創立以来延

べ300万人の子ども達に音楽を届けて来ました。その土台をさらに広げるために、35市町村Thanksプロジェクトを開始、出羽三山、山寺、寒河江慈恩寺などなど県内35市町村でのアンサンブル活動によって新たな聴衆の裾野を広げています。同時に観光映像を製作。山形の魅力を多くの人々に向けて発信しています。コロナ禍明け後、「山響の映像で知った山形の魅力を体験するために旅行を計画しました!」との声が寄せられていることは、大きな喜びです。



荘内神社（鶴岡市）での弦楽四重奏

日本センチュリー交響楽団

「ハイドンマラソン」完走!

日本センチュリー交響楽団が、2025年3月21日(金)に開催した第38回公演をもって、ハイドンの全交響曲104曲を演奏・録音するプロジェクト「ハイドンマラソン」を完走した。プロジェクトの指揮を務めたのは、2024年度まで同楽団の首席指揮者を務めた飯森範親氏。構想から演奏、録音まで10年にわたる長期プロジェクトは、多くのクラシックファンとともにその幕を閉じた。



写真提供：日本センチュリー交響楽団

「ハイドンマラソン」がスタートしたのは2015年6月。この回では交響曲第35番、第17番、第6番《朝》の3曲に加え、世



©s.yamamoto 写真提供：日本センチュリー交響楽団

界的チェリスト、アントニオ・メネセスをソリストに迎えハイドン《チェロ協奏曲第2番》も披露された。公演のライブ録音はCDとしてリリースされ、音楽誌『レコード芸術』では特選盤にも選ばれている。

このプロジェクトのきっかけとなったのは、2014年に同楽団が演奏した交響曲第104番《ロンドン》。ハイドンの全交響曲を演奏するという壮大な計画が動き出した。

最終回となった第38回では、プロジェクトの発端にもなった交響曲第104番が最後に取り上げられた。当初の演奏とは一味も二味も違う、10年の蓄積が感じられる深みと練度の高い演奏が披露され、集大成にふさわしい感動的なフィナーレを迎えた。飯森氏は「10年間、共に走り続けた楽団員やスタッフ、そして支えてくださった聴衆に感謝したい」と語っている。

マレーシアとアメリカより ～2つの国際会議に参加

日本オーケストラ連盟職員として参加、現東京フィルハーモニー交響楽団事務局員 沖汐 明日香



クアラルンプール・オーケストラ・フェスティバル・フォーラム2025

6月3日(火)～4日(水)、マレーシアで開催された「クアラルンプール・オーケストラ・フェスティバル・フォーラム2025」に参加した。主催はクアラルンプール市(Kuala Lumpur City Hall)で、会場は市中心部のメイヤーズ・コートヤード(Mayor's Courtyard)。タイ、中国、日本、マレーシアから約50名が集まり、「インクルーシビティ(包摂性)」と「サステナビリティ(持続可能性)」をテーマに議論を行った。

このフェスティバルは2024年に始動し、プ

ロとアマチュア、西洋楽器と伝統楽器といった区分を越え、オーケストラを誰もが平等に楽しめる場の創出を重視している。フォーラムの開催は今回が初であった。

マレーシアからの登壇者は、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団(1998年創立。25年1月、音楽監督に広上淳一氏が就任)、国立交響楽団(1993年)、セランゴール交響楽団(2015年)の関係者をはじめ、ポップス・

オーケストラ「オーケストラ・クアラルンプール(OKL)」(1988年)のイザベラ・ペク氏がフォーラム全体のファシリテーターを務めた。OKLはクアラルンプール市の文化・芸術・観光・スポーツ部門が運営しており、ペク氏はその音楽ユニットのトップを務めている(彼女とは2023年ポー

ランドでのカンファレンス「Orchestras Now!」でお会いした)。アジアでは数少ないオーケストラ統括団体として、当連盟についてのプレゼンをして欲しいと相談をいただき、今回のフォーラムにご招待いただいた。日本からは東京交響楽団も登壇者として参加した。

連盟の歴史や事業内容をお話し、加盟団体が長年注力してきた文化庁学校巡回公演を「包摂性」の事例、事務局員の人材育成を「持続可能性」の事例として紹介した。東響のセッションでは、1946年創立の楽団として「楽団のアイデンティティ維持」「方向性の一致」に関する質問がフロアからあり、廣岡克隆楽団長は「音楽監督が要」とし、共通のビジョンに向き合う重要性を述べた。その他、プロフェッショナル・オーケストラの定義や収入構造についても活発に議論され、2日間のフォーラムは幕を閉じた。



クアラルンプール・オーケストラ・フェスティバル・フォーラム2025
(©Kuala Lumpur City Hall)



リーグ・オブ・アメリカン・オーケストラズ 第80回ナショナル・カンファレンス

6月10日(火)～13日(金)、アメリカ版オーケストラ連盟(LAO)のカンファレンスがユタ州ソルトレークシティで開催された。ユタ交響楽団・ユタオペラをホストに国内外から約1,100名が参加。うち約50名は英国、オーストラリア、カナダ、シンガポール、日本、ブラジルなどの海外勢で、日本からは当連盟と群馬交響楽団の深堀愛香氏が出席した。

初日はLAOのCEO兼プレジデントのサイモン・ウッズ氏による「戦略計画」セッションが行われ、組織ミッションの可視化と評価手法が紹介された。2日目の開会式では指揮者マリン・オルソップ氏が登壇し、続いてソプラノ歌手ルネ・フレミング氏が「音楽と心」と題した基調講演を行った。フレミング氏は世界保健機関(WHO)の「Arts and Health」親善大使を務めており、「Power of Music(音

楽の力)」という言葉を繰り返しながら、音楽療法の神経疾患の患者の生活の質を向上させる可能性について、自身の研究も交えて語った。

残りの2日間は多数のセッションが続き、楽団、指揮者、作曲家、マネジメントとの間で活発な意見交換も行われた。それぞれが自団体の課題と講演テーマを重ね合わせ、視点を共有した。多様な立場の人々との密度の高いコミュニケーションに満ちた時間となった。

最終日の閉会式では、シリア人クラリネット奏者・作曲家のキナン・アズメ氏が自身の作品を披露した。アズメ氏は長年ニューヨークを拠点にしているが、2017年の行政命令



LAO第80回ナショナル・カンファレンス閉会式の様子

13769号により米国への入国を一時期制限された経験を持つ。「Home, Freedom, and Belonging」のテーマで自身のシリア人音楽家としてのアイデンティティを語った。「社会の分断が色濃くなりつつある現代でも、音楽には国境を超えて人々をつなげる力がある。皆で心をつなにし、また新たなシーズンを迎えよう」とサイモン・ウッズ氏が最後に呼びかけた。

東京フィルハーモニー交響楽団 ドバイ InClassica 国際音楽祭へ

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 安田ひとみ



東京フィルハーモニー交響楽団は、昨年から今年にかけて、サウジアラビアや韓国で演奏を重ね、4月には日本のオーケストラとして初めて、アラブ首長国連邦のドバイで開催された「InClassica 国際音楽祭」にホスト・オーケストラとして招聘されました。

サウジアラビアと同じイスラム文化圏でありながら、人口の9割が外国籍居住者というドバイは、極めて多様な人々が暮らす国際都市です。石油に頼らない観光立国として発展を遂げるこの地では、一日五回のお祈りの際に演奏を中断したり、肌の露出を控えたりといった、サウジアラビアのような厳格な宗教的制約はありませんでした。

約2週間にわたる音楽祭で、東京フィルは全6公演すべて異なる楽曲を演奏しました。各公演の前半では、ウクライナ出身の作曲家アレクセイ・ショールの作品を、ゴータイエ・カピュソンやファブリツィオ・メローニといった世界的ソリストたちと共に披露。会場のお客様だけでなく、作曲家本人からも称賛を受けまし

た。中でも特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフがピアニストとして共演した公演は、ひととき大きな喝采を博しました。後半はベートーヴェン交響曲第5番、チャイコフスキー交響曲第5番、ストラヴィンスキー組曲『火の鳥』など、オーケストラにとって重要なレパートリーの数々を、東京フィルならではのダイナミックなサウンドで披露し、お客様からはスタンディングオベーションをいただきました。

3人の指揮者、7人のソリストと休みなく連日リハーサルとコンサートに明け暮れるというまさに音楽漬けの日々は、東京フィルの真価が問われた場でもありました。限られた時間の中でも、指揮者やソリストの意図を瞬時にくみ取り音にするという、これまで日本で培ってきた東京フィルの力が存分に発揮され、オーケストラとして大きな成長へと繋がりました。

また、ドバイ滞在中には、子どもたちとの音楽交流も実現しました。音楽祭と同時開催のアカデミープログラムでは、東京フィルの管楽器奏者がマスタークラスの講師として子どもたち

ちを指導。さらに、ドバイ日本人学校創立45周年を記念し、東京フィルメンバーによる弦楽アンサンブルのコンサートを開催し、現地の児童・生徒や保護者の方々に音楽を届けました。演奏会後はランチ交流も行われ、心温まるひとときとなりました。



東京フィルは今秋、名誉音楽監督チョン・ミョンファンと共にヨーロッパ・ツアーを実施します。ベルリン、ウィーン等7か国6都市を総勢130名で巡るこのツアーは、東京フィルの音楽を本場欧州の人々に届けられる貴重な機会です。また、欧州各地を移動しつつ名門コンサートホールで演奏するという、音楽に集中的に取り組める環境は、オーケストラのさらなる成長にも繋がると確信しています。

News & Topics

日加友好演奏会 Canada-Japan Friendship Concert

～ナショナルアーツセンター管弦楽団メンバーとアフィニス夏の音楽祭メンバーによる共演～
2025年6月4日(水) カナダ大使館内
オスカー・ピーターソン シアター

ナショナルアーツセンター管(NACO)の日本ツアーのタイミングで、アフィニス文化財団および日本オーケストラ連盟の協力により開催。川崎洋介をはじめとするNACOの首席奏者とアフィニス夏の音楽祭に参加経験のあるオーケストラ・メンバーによる共演で、日加両国の国歌、メンデルスゾーンの弦楽八重奏曲を演奏し、パートナーシップを祝す交流公演となった。



©Curtis Perry

出演: Vn: 川崎洋介 (NACO コンサートマスター)、蔵川瑠美 (広響コンサートマスター)、ジェシカ・リネバツハ (NACO アソシエイト・コンサートマスター)、伊東翔太 (都響)、Va: ジェスロ・マークス (NACO 首席奏者)、木田奏帆 (日本センチュリー響)、Vc: レイチェル・マーサー (NACO 首席奏者)、中実穂 (N響)
(文章: 公益財団法人アフィニス文化財団)

「アフィニス夏の音楽祭2025 かがわ」の開催

海外のトップ・プレイヤーと日本のプロオーケストラ・メンバーがおくる室内楽の祭典。香川県で2回目の開催となり、レクザムホール(香川県県民ホール)、ハイスタッフホール(観音寺市民会館)などで8月13日(水)から21日(木)まで9日間にわたって開催されます。

公開セミナー&ワークショップ

14日(木)～18日(月) ※16(土)を除く

室内楽演奏会 19日(火)、20日(水)

ホワイエコンサート 14日(木)、15日(金)

オープンハウス&あいうえ音楽会 16日(土)
レッツホールコンサート 17日(日)
観音寺コンサート 21日(木)



アフィニス夏の音楽祭かがわ
公式サイト

「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2025」の開催

開催21回目を迎える2025年は、「夏にや祭りを。祭りにやミュージアを。」を合言葉に、川崎市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団をはじめとする首都圏10団体に加えて、首都圏外からは「九州交響楽団」が初登場、7月26日(土)～8月11日(月・祝)の17日間にわたり全11楽団が日替わりで充実のコンサートをお届けします。このほか、パイプオルガン公演、ジャズ公演、子ども向け公演、市内大学公演など多彩な企画が満載です。



フェスタサマーミュージア
KAWASAKI 2025公式サイト

Concert information

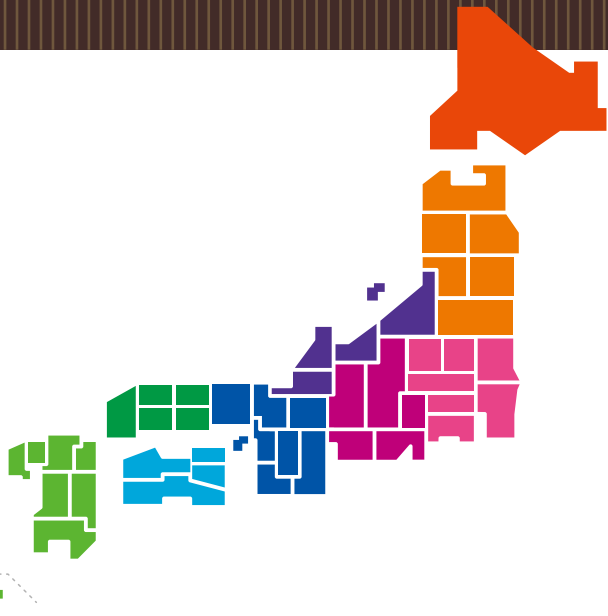
2025.8 ~ 11

加盟オーケストラの2025年6月時点での情報です。

今後の状況により変更を余儀なくされる場合もございますので、

コンサート実施の最新情報はそれぞれのオーケストラのホームページ等で

ご確認くださいようお願い申し上げます。



■ 正会員 ■ 準会員

札幌交響楽団 <https://www.sso.or.jp/>

お問合せ 011-520-1771

【定期演奏会】札幌コンサートホールKitara 土 17:00開演/日 13:00開演

第671回
9月6日(土)、7日(日)
指揮:下野竜也(札幌首席客演指揮者)
ピアノ:アンヌ・ケフェレック
ベートーヴェン 序曲「コリオラン」
ピアノ協奏曲第4番
ジョン・アダマス ハルモニレーレ(和声学)



第672回
10月18日(土)、19日(日)
指揮:トーマス・ダウスゴー
ヴァイオリン:竹澤 恭子
ランゴー(T.ダウスゴー編曲による弦楽合奏版)
弦楽四重奏曲第3番「ラビア(怒り)」
ブラームス ヴァイオリン協奏曲
ニールセン 交響曲第4番「不滅」



第673回
11月29日(土)、30日(日)
指揮:川瀬 賢太郎(札幌正指揮者)
別宮貞雄 管弦楽のための二つの祈り
伊藤康美 管弦楽のための交響詩「くるりよざ」
ストラヴィンスキー バレエ音楽「春の祭典」



<前売1回券>
SS 7,500円
S 6,500円
A 5,500円
B 4,500円
C 3,500円
U25割1,000円
(8.C)

【森の響フレンド名曲コンサート】札幌コンサートホールKitara 14:00開演

気軽にオーケストラの演奏を楽しんでいただくコンサートシリーズ。開演前にはプレトーク(13:45~)も。

ブラームスとボンマー 9月13日(土)

指揮:マックス・ボンマー
C.P.E. バッハ シンフォニア ニ長調 Wq.183/1
ヘンデル「水上の音楽」組曲第2番
ブラームス 交響曲第2番



エリアスとウィーンハ 11月8日(土)

指揮:エリアス・グランディ(札幌首席指揮者)
ソプラノ:中江 早希*
ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」
ヨハン・シュトラウス2世 ~生誕200年記念~
ワルツ「南国のぼら」、「春の声」*、「美しく青きドナウ」
喜歌劇「こうもり」より
「私の侯爵様」、「田舎娘を演じる時は」*
ビツィカー・ボルカ(ヨーゼフ・シュトラウス共作)
トリッチ・トラッチ・ボルカ



<前売1回券>SS 5,500円/S 4,500円/A 3,000円/U25割(A)1,000円

仙台フィルハーモニー管弦楽団 <https://www.sendaiphil.jp/>

お申し込み・お問合せ 022-225-3934

仙台フィルサービス(受付 平日10:00~18:00)

定期演奏会 会場:日立システムズホール仙台 コンサートホール 金曜日/19:00開演 土曜日/15:00開演

【全席指定】S席:¥5,100 S席ユース:¥2,000 A席:¥4,600 A席ユース:¥1,500 Z席:¥2,000 ※ユース:演奏会当日25歳未満の方が対象

第384回 9月19日(金)・20日(土)

指揮:高関 健(仙台フィル常任指揮者)
ヴァイオリン:金川 真弓
芥川也寸志:弦楽のための「陰画」
バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番 Sz.112
ブラームス:交響曲第1番 短調 作品68



第385回 10月17日(金)・18日(土)

指揮:尾高 忠明
シベリウス:
アンダンテ・フェスティエヴォ
組曲「ペレアスとメリザンド」作品46
交響曲第1番 短調 作品39



第386回 11月21日(金)・22日(土)

指揮:ユベール・スダーン
オーボエ:西沢 澄博(仙台フィル首席奏者)
クラリネット:ダビッド・ヤジンスキー
(仙台フィル首席奏者)
ファゴット:西口 真央(仙台フィル首席奏者)
ホルン:山岸 博(仙台フィル客演首席奏者)
モーツァルト:交響曲第1番 変ホ長調 K.16
モーツァルト:
オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットと
管弦楽のための協奏交響曲
変ホ長調 K.297b
シューベルト:
交響曲第8番 ハ長調 D.944「ザ・グレート」



東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 <http://www.uniphil.gr.jp>

お問合せ 03-3766-0876

**東京ユニバーサル・
フィルハーモニー
管弦楽団** 第44回 定期演奏会

2025

9/19

19:00開演
[金] (18:30開場)

大田区民プラザ 大ホール

[S席 前売券] ¥5,000

[A席 自由席] ¥4,000 / ¥2,000

| 指揮 | 松岡 究

| ピアノ | 小井上 文哉



Web サイト



お問い合わせ ユニフィル事務局 03-3766-0876 <http://www.uniphil.gr.jp>

山響 2025 season “伝説・伝承=Legends”

定期演奏会 [会場] 山形テルサ [開演] 土曜19:00 / 日曜15:00

[チケット料金]

A席:5,500円 B席:5,000円
学生(B席):3,000円 Bペア:9,000円



山響公式 HP



山響 WEB チケット

第327回 9月6日(土)・7日(日)

指揮: 阪 哲朗 ピアノ: 小林 愛実
小田 実結子: 山響委嘱新作 (世界初演)
ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調
シューベルト: 交響曲 第8番 ハ長調
「ザ・グレート」D.944



© Kazuhiko Suzuki



© Yuki Kumagai

第328回 10月18日(土)・19日(日)

指揮: 原田 慶太楼
ピアノ: マルティン・ガルシア・ガルシア
芥川 也寸志: 秋田地方の子守歌
ニールセン: 交響曲 第1番 ト短調 作品7
ショパン: ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11



© Claudia Herschner



© Darek Golik (NIFC)

第329回 11月29日(土)・30日(日)

指揮: ホルン: ラデク・バボラーク
弦楽四重奏: バボラーク・アンサンブル
ホルン: ビクトール・テオドシエフ
モーツァルト:
ホルン協奏曲 第1番 ニ長調
K.412/514 (386b)
モーツァルト: セレナード 第6番 ニ長調
「セレナータ・ノットウルナ」K.239
ハイドン: 2つのホルンのための協奏曲 変ホ長調
Hob.VIId:2
ブラームス: 交響曲 第4番 ホ短調 作品98



© Lucia Cernakova



© Vaclav Jirsák

(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL: 023-616-6607 (平日:10:00~17:00)



2025-26 定期演奏会 中期シーズン 80周年記念演奏会



第611回 9月20日(土) 開演16:00 高崎芸術劇場 大劇場

第55回東毛 9月21日(日) 開演15:00 太田市民会館
指揮: ジャン＝クリストフ・スピノジ
吉松隆/鳥は静かに... 作品72 (1997)
モーツァルト/交響曲 第41番 ハ長調「ジュピター」
ドヴォルザーク/交響曲 第9番「新世界より」



© Edouard Bréard

第612回 10月18日(土) 開演16:00 高崎芸術劇場 大劇場

東京定期 10月19日(日) 開演15:00 すみだトリフォニーホール
指揮: ビエール・デュムソー アコーディオン/フェリシアン・ブリュ*
武満徹/弦楽のためのレクイエム (1957)
ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲
ワグネル/アコーディオン協奏曲「時の鳥」[日本初演]*
ペリョー/アコーディオン奏者のカプリス [日本初演]*
ラヴェル/バレエ音楽《ダフニスとクロエ》第2組曲 [生誕150年記念]
ラヴェル/ボレロ [生誕150年記念]

ベートーヴェン交響曲全曲演奏会 第2回

11月24日(月・祝) 開演15:00 太田市民会館
指揮: 広上淳一 ヴァイオリン/成田達輝*
ベートーヴェン: 交響曲 第2番
外山雄三: ヴァイオリン協奏曲 第1番*
ベートーヴェン: 交響曲 第5番「運命」



© Masashi Tomitori

第613回 11月29日(土) 開演16:00 高崎芸術劇場 大劇場

特別演奏会 11月30日(日) 開演16:00 高崎芸術劇場 大劇場
指揮: 飯森範親 (群馬常任指揮者)
ソプラノ/小林沙羅*・森谷真理*・森野美咲* メゾソプラノ/富岡明子*・十合翔子*
テノール/宮里直樹*・バリトン/青山貴*・バスバリトン/久保和範*
合唱: 群馬交響楽団合唱団 (合唱指揮/阿部純)*
児童合唱/藤岡市立小野小学校 合唱部* 共演/オーケストラ・アンサンブル金沢
菅野祐輔/新作曲委嘱 (2025)
マーラー/交響曲 第8番「千人の交響曲」*



© Shigeaki Saegusa

第611回、第612回定期演奏会 (9/20,10/18)
SS席7,500円 / S席6,500円 / A席5,500円
B席4,500円 / C席3,500円

第613回定期演奏会・特別演奏会 (11/29,11/30)
SS席10,000円 / S席9,000円 / A席8,000円
B席7,000円 / C席6,000円

第55回東毛定期演奏会 (9/21)
S席5,500円 / A席4,500円
B席3,500円 / C席2,500円

東京定期演奏会 (10/19)
S席6,500円 / A席5,500円
B席4,500円 / C席3,500円

ベートーヴェン交響曲全曲演奏会第2回 (11/24)
S 5,000円 / A 4,000円 / B 3,000円

各コンサートの詳細・チケットについては群馬 Web サイトをご覧ください。群馬交響楽団事務局 (平日 10:00~18:00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

2025-26シーズン定期公演 AUTUMN(2025年9月-11月)

Aプログラム

NHKホール

土 18:00
日 14:00

第2042回 | 9/13(土), 14(日)

指揮: ファビオ・リイージ
ピアノ: イェフム・プロンフマン
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
フランツ・シュミット/交響曲 第4番

第2046回 | 10/18(土), 19(日)

指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット
独唱: C. ランツハマー*
M. H. ラインホルト*・T. リビディ
合唱: スウェーデン放送合唱団
ストラヴィンスキー/詩篇交響曲
メンデルスゾーン/交響曲 第2番「讃歌」

第2048回 | 11/8(土), 9(日)

指揮: シャルル・デュトワ
ピアノ: 小菅 優*
オンド・マルトノ: 大矢素子*
女声合唱: 東京オペラシンガーズ
メシアン/神の現存の3つの小典礼*
ホルスト/組曲「惑星」

Bプログラム

サントリーホール

木 19:00
金 19:00

第2043回 | 9/18(木), 19(金)

指揮: ファビオ・リイージ
ヴァイオリン: マリアドゥエニャス
武満 徹/3つの映画音楽
ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲
メンデルスゾーン/
交響曲 第4番「イタリヤ」

第2045回 | 10/9(木), 10(金)

指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット
フルート: セバスティアン・ジャコ
グリーグ/組曲「ホルベアの時代から」
ニールセン/フルート協奏曲
シベリウス/交響曲 第5番

第2050回 | 11/20(木), 21(金)

指揮: ラファエル・バヤレ
ピアノ: エマニエル・アックス
シューマン/「マンフレッド」序曲
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第25番
R. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」

Cプログラム

NHKホール

金 19:00
土 14:00

第2044回 | 9/26(金), 27(土)

指揮: ライアン・バンクロフト
バリトン: トマス・ハンブソン*
マーラー/こどもの不思議な角笛から*
シベリウス/交響詩「4つの伝説」

第2047回 | 10/24(金), 25(土)

指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット
ピアノ: レイフ・オヴェ・アンズネス
ブラームス/ピアノ協奏曲 第2番
ブラームス/交響曲 第3番

第2049回 | 11/14(金), 15(土)

指揮: シャルル・デュトワ
合唱: 二期会合唱団*
ー ラヴェル生誕150年ー
ラヴェル/「亡き王女のためのパヴァーヌ」
組曲「クーランの墓」
バレエ音楽「ダフニスとクロエ」(全曲)*

特別公演

明電舎 presents
N響名曲コンサート2025



10/29(水) 19:00
サントリーホール
指揮: 大友直人
チェロ: 鳥羽咲音
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲
シベリウス/交響曲 第2番

Follow us on

nhkso.or.jp



やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。



藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

～ラヴェル生誕150年～
オール・ラヴェル・プログラム

- ◆ドカルシニア姫に心を寄せるドン・キホーテ
- ◆ピアノ協奏曲 ト長調
- ◆ツイガース
- ◆組曲《マ・メール・ロワ》
- ◆ボレロ



指揮: 山下 一史



バリトン: 甲斐 栄次郎



ピアノ: 野原 みどり

2025年

10月10日 金

19:00 開演
東京藝術大学演奏堂

チケット: 全席指定 4,000円

2025/2026シーズン定期演奏会、チケット好評販売中！

すみだクラシックへの扉 第33回

9/12 (金) 14:00 すみだトリフォニーホール

9/13 (土) 14:00 すみだトリフォニーホール

指揮・ヴァイオリン：ジャン＝クリストフ・スピノジ*

ヴァイオリン：崔 文洙 (NJP ソロ・コンサートマスター)* ソプラノ：砂川涼子**

ヴィヴァルディ：「四季」(全曲) op.8*

ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」より序曲

ブッチェリ：歌劇「ラ・ボエーム」より「私が街を歩くと」**

ヴェルディ：歌劇「椿姫」第一幕への前奏曲

ペリーニ：歌劇「カプレーティ家とモンテッキ家」より「ああ、幾たびか」**

ロッシーニ：歌劇「泥棒かささぎ」序曲

ブッチェリ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」**

ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」

一般 ¥5,500 A ¥2,800 シニア (65歳以上) ¥4,000

U25 (25歳以下) ¥2,000 A ¥1,000

墨田区在住・勤※ ¥3,000 A ¥1,500 ※新日本フィル・チケットボックスでお取扱い

第665回定期演奏会

9/20 (土) 14:00

すみだトリフォニーホール

9/21 (日) 14:00

サントリーホール

指揮：トーマス・ダウスゴー

ヴァイオリン：クリスティアン・テツラフ*

ベートーヴェン：

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op. 61*

ブラームス (シェーンベルク編)：

ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 op.25

(管弦楽版)

9/20 (土) SS¥11,000 SY¥8,000 AY¥6,500 BY¥5,000 CY¥4,000

U25・S席 ¥2,000 U25・A～C席 ¥1,000

9/21 (日) SS¥12,000 SY¥9,000 AY¥7,500 BY¥5,500 CY¥4,500

PY¥4,000 U25・S席 ¥2,000 U25・A～P席 ¥1,000

東京交響楽団

<https://tokyosymphony.jp>

お問合せ 044-520-1511

古典はモダンだ

9月20日(土) 14:00

東京オペラシティコンサートホール

指揮＝ジョナサン・ノット

フルート＝竹山 愛 (東響首席)

オーボエ＝荒木良太 (東響首席)

ソプラノ＝森野美咲

ハイドン：交響曲 第83番

リゲティ：フルート、オーボエと管弦楽のための二重協奏曲

リゲティ：歌劇「ル・グラン・マカブル」より

“マカブルの秘密”

モーツァルト：交響曲 第41番「ジュピター」



S 8,500円 A 6,500円 B 4,500円 C 3,500円

魂揺さぶる、熱狂の旋律

10月4日(土) 14:00

東京オペラシティコンサートホール

指揮＝大友直人

ギター＝ティボー・ガルシア

ブラームス：交響曲 第3番

ロドリゴ：アランフェス協奏曲

ラヴェル：ボレロ



S 7,500円 A 6,500円 B 4,500円 C 3,500円

バロック・THE ロック 佐藤俊介×東響の名手たち

10月18日(土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮＆ヴァイオリン＝佐藤俊介

フルート＝竹山 愛 (東響首席) 濱崎麻里子 (東響奏者)

オーボエ＝荒木良太 (東響首席) 最上峰行 (東響奏者)

浦脇健太 (東響奏者)

ファゴット＝福井 蔵 (東響首席)

ホルン＝上間善之 (東響首席)

加藤智浩 (東響奏者)

チェンバロ＝重岡麻衣

フレミング完全なるドイツ狐師より“ファンファーレ”

J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第1番

フックス：ロンド ハ長調

J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第5番

J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第3番

テレマン：2つのオーボエと

ヴァイオリンのための協奏曲

J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第4番

S 7,500円 A 6,500円 B 4,500円 C 3,500円 P 3,000円

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

<https://www.cityphil.jp/>

お問合せ 03-5624-4002

定期会員券・シーズンセット券・1公演券発売中！

定期演奏会 会場：東京オペラシティ コンサートホール

第381回

9月6日(土) 14時開演

【指揮】高関 健 (常任指揮者)

【フィリッポ2世】妻屋 秀和

【ドン・カルロ】小原 啓楼

【ロドリゴ】上江 隼人

【宗教裁判長】大塚 博章

【エリザベッタ】木下 美穂子

【エボリー公女】加藤 のぞみ

ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」(演奏会形式)

【1884年イタリア語版 (全4幕 ※第2幕第2場、大フィナーレを除く全曲)】

S席 ¥9,000 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000

C席 ¥6,000 (座席指定・税込)

U20 ¥2,000 U30 ¥3,000 (座席指定不可・税込)

プラチナ S席 ¥7,500

プラチナ A席 ¥6,500 (60歳以上・税込)

第382回

10月18日(土) 14時開演

【指揮】鈴木 秀美

【チェロ】山崎 伸子

シュマン：劇音楽「マンフレッド」

作品115より序曲

シュマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品129

ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」



S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000 C席 ¥4,000 (座席指定・税込)

U20 ¥1,000 U30 ¥2,000 (座席指定不可・税込)

プラチナ S席 ¥5,500 プラチナ A席 ¥4,500 (60歳以上・税込)

第383回

11月8日(土) 14時開演

【指揮】高関 健 (常任指揮者)

【オンド・マルトノ】原田 節

【ピアノ】児玉 桃

メシアン：

トゥランガリラ交響曲



第83回

9月13日(土) 15時開演

【指揮】藤岡 幸夫 (首席客演指揮者)

【ヴァイオリン】木嶋 真優

芥川也志志：交響管弦楽のための音楽

林ぞよか：ヴァイオリン協奏曲 "Starburst"

チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 作品64

【ピアノ】務川 慧悟

【ラヴェル生誕150周年】

ラヴェル：高雅で感傷的なワルツ

ラヴェル：道化師の朝の歌

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調

ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲

ラヴェル：ラ・ヴァルス

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 B席 ¥3,500 (座席指定・税込)

U20 ¥1,000 U30 ¥2,000 (座席指定不可・税込)

千葉交響楽団

<https://chibakyo.jp/>

お問合せ 043-222-4231

第120回定期演奏会 千葉響×山下一史 10年目の響き

2025年10月25日(土) 14時開演 千葉県文化会館大ホール



ブラームス：大学祝典序曲作品80

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調作品26

チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調作品64

指揮：山下一史 (音楽監督)

ヴァイオリン：中野りな

入場料・全席指定

S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円

指揮：
山下一史ヴァイオリン：
中野りな

第1025回定期演奏会Aシリーズ

2025年9月3日(水) 19:00開演
東京文化会館

第1026回定期演奏会Bシリーズ

2025年9月4日(木) 19:00開演
サントリーホール

指揮／大野和士(都響 音楽監督)
ヴァイオリン／アリーナ・イブラギモヴァ
ショスタコーヴィチ:
ヴァイオリン協奏曲第2番 嬰ハ短調 op.129
ショスタコーヴィチ:
交響曲第15番 イ長調 op.141



東京都交響楽団創立60周年記念公演

都響スペシャル「すぎやまこういちの交響宇宙」

2025年10月19日(日) 15:00開演
東京芸術劇場

指揮／大野和士(都響 音楽監督)
ヴァイオリン／矢部達哉*
合唱／新国立劇場合唱団**
すぎやまこういち: カンタータ・オルビス**
すぎやまこういち:
ヴァイオリンのための小協奏曲《日本の風》*
すぎやまこういち:
ヴァイオリンのための《神秘なる静寂》*
すぎやまこういち: 交響曲《イデオン》

[全公演共通] S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 C席¥5,000 Ex席¥3,500 (9/3、10/19) P席¥4,000 (9/4)
シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、U-25(25歳以下) S席~C席5割引

2025シーズン定期演奏会

9月定期演奏会

11日(木) 19:00開演 サントリーホール
12日(金) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
14日(日) 15:00開演 Bunkamura オーチャードホール
指揮: アンドレア・パッティストーニ(首席指揮者)
ピツェッティ/夏の協奏曲
R. シュトラウス/『アルプス交響曲』



チケット定価(税込・全席指定) SS席¥15,000 S席¥10,000 A席¥8,500 B席¥7,000 C席¥5,500
東京フィルフレンズ(入会費・年会費無料) S席 ¥9,000 A席¥7,650 B席¥6,300 C席¥4,950

10月定期演奏会

5日(日) 15:00開演 Bunkamura オーチャードホール
16日(木) 19:00開演 サントリーホール
20日(月) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
指揮: チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)
ピアノ: 小曽根 真*
バーンスタイン/
『ウエスト・サイド物語』よりシンフォニック・ダンス
ガーシュウィン/ラプソディー・イン・ブルー*
プロコフィエフ/バレエ音楽『ロメオとジュリエット』より
東京フィル
ヨーロッパ・ツアー 2025 (10/28 ~ 11/11)
プログラム A と同プログラム

〔東京フィルハーモニー交響楽団ヨーロッパ・ツアー 2025〕



2025-2026シーズン 9月~11月東京定期演奏会 会場/サントリーホール 金曜日/19:00開演 土曜日/14:00開演

第773回 9月12日(金), 13日(土)

指揮: カーチュン・ウォン[首席指揮者]
マーラー: 交響曲第6番《悲劇的》



第774回 10月17日(金), 18日(土)

指揮: カーチュン・ウォン[首席指揮者]
ピアノ: 小川典子*
トランペット: オッタヴィアーノ・クリストーフォリ
[ソロ・トランペット]*
ショスタコーヴィチ: ピアノ協奏曲第1番*
ショスタコーヴィチ: 交響曲第11番《1905年》



第775回 10月31日(金), 11月1日(土)

指揮: 小林研一郎[桂冠名誉指揮者]
ヴァイオリン: 千葉清加[アシスタント・コンサートマスター]
ヴィオラ: 安達真理[客演首席奏者]
モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲
シベリウス: 交響曲第2番



[全公演共通]
SY9,500 AY8,000 BY7,000 CY6,000 PY5,000 Ys(25歳以下) ¥2,500

[お問合せ・お申込み] 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)
日本フィルeチケット <https://eticket.japanphil.or.jp>

定期演奏会 会場: 愛知県芸術劇場コンサートホール
開場: 18:00 開演: 18:45

第90回 2025年9月4日(木)

指揮: 出口大地 ピアノ: 上原彩子*
トランペット: 服部孝也(首席客演奏者)*
シュレーカー: 室内交響曲
ショスタコーヴィチ: ピアノ協奏曲第1番*
ショスタコーヴィチ: 交響曲第1番



第91回 2025年10月23日(木)

指揮: 原田慶太楼(首席客演指揮者兼アーティスト・パートナー)
フルート: セバスチャン・ジャコー*
芥川也寸志: 弦楽のための三楽章「トリプティック」
C. P. E. バッハ: フルート協奏曲 二短調*
レスピーギ: リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲
ライネッケ: フルート協奏曲*



チケット
発売中

WEB チケット
チケットの
お申込みは
こちら

特別演奏会 ベートーヴェン・ツィクルスVol.2

2025年8月12日(火) 開演19:00

東京オペラシティ コンサートホール

ピアノ・指揮＝横山幸雄

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 op.37

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」



© ZIGEN

第176回定期演奏会

2025年9月27日(土) 開演14:00

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮＝原田慶太楼

ビゼー：「カルメン」組曲 第1番

R. シュトラウス：「町人貴族」組曲 op.60

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92



© MASATOSHI YAMASHIRO

第177回定期演奏会

2025年11月14日(金) 開演19:00

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮＝飯森範親 チェロ＝佐藤晴真

藤倉大：『Ritual』～室内オーケストラとエレクトロニクスのための
[日本初演]

サン＝サーンス：チェロ協奏曲第1番 イ短調 op.33

サン＝サーンス：交響曲第3番 ハ短調 op.78「オルガン付き」



© 山岸伸



チケット料金(全公演共通)S:7,500円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25:1,500円



パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク

03-6206-7356

(平日10時～18時)

公式 HP



WEB 予約



読売日本交響楽団

<https://yomikyo.or.jp/>

お問合せ 0570-00-4390

読響チケットセンター (10時～18時 年末年始を除く年中無休)

妥協を許さず美を追求する鬼才ヴァルチュハが登場。
“交響曲”の歴史を変えたベートーヴェン「英雄」で
鮮烈なサウンドを引き出し、壮大な宇宙を描く！

第280回

土曜・日曜マチネーシリーズ

8月23日(土)、24日(日)

各14:00開演

東京オペラシティコンサートホール

【指揮】ユライ・ヴァルチュハ

R. シュトラウス：メタモルフォーゼン

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」



指揮：
ユライ・ヴァルチュハ
© 読売日本交響楽団

好評発売中

【チケット料金】S ¥8,800 A ¥6,600 B ¥5,500 C ¥5,000

任期7年目を迎えた常任指揮者ヴァイグレが、得意のロシア音楽から
ショスタコヴィチの交響曲15番を取り上げ、更なる高みを目指す！

国際コンクールで相次いで優勝した注目の新星
北村陽がハチャトゥリアンで超絶技巧を披露。

第652回定期演奏会

10月21日(火) 19:00開演

サントリーホール

【指揮】セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

【チェロ】北村 陽

グリンカ：幻想曲「カマリンスカヤ」

ハチャトゥリアン：チェロと管弦楽のための
コンチェルト・ラブソディ

ショスタコヴィチ：交響曲第15番

好評発売中

【チケット料金】S ¥8,800 A ¥7,700 B ¥6,600 C ¥5,000



指揮：
セバスティアン・ヴァイグレ
© 読売日本交響楽団



チェロ：北村 陽

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

<https://www.kanaphil.or.jp/>

お問合せ 045-226-5107
(平日10時～17時)

みなとみらいシリーズ定期演奏会

会場：横浜みなとみらいホール

【チケット料金】S 席 7,000円 A 席 5,000円 B 席 3,500円 ユース (25歳以下) 1,000円

第407回 2025年 9月13日(土) 14:00

クレメンス・シュルト (指揮)

エステバン・バタラン (トランペット)

村上公太 (テノール)

神奈川ハーモニック・クワイア (男声合唱)

アルチュニアン／トランペット協奏曲

リスト／ファウスト交響曲



トランペット：
エステバン・バタラン
© Todd Rosenberg

第408回 2025年 10月18日(土) 14:00

沼尻竜典 (指揮)

ブルックナー／

交響曲第8番



指揮：
沼尻竜典

京都フィルハーモニー室内合奏団

<https://kyophil.com/>

お問合せ 075-950-2770

第274回定期公演B 室内楽シリーズVol.28

「南欧のメヌエット」

2025年9月4日(木) 18:30開演

京都文化博物館 別館ホール

ブッチェリ／3つのメヌエット

ボッケリーニ／

弦楽五重奏曲ホ長調 Op.11-5

ビゼー／アルルの女第一組曲 (木管五重奏)



第275回 定期公演A 「絵画と文学と音楽」

2025年 10月19日(日) 14:00開演

京都府立府民ホール アルティ

指揮：田中祐子

ホルン：福川伸陽 テノール：山本耕平

オットリーノ・レスピーギ／ボッティチェリの三枚の絵 P151

エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト／劇音楽「空騒ぎ」組曲 Op.11

ベンジャミン・ブリテン／テノールとホルンと弦楽のためのセレナード Op.31



© sajihideyasu



入場料 (前売・税込)：一般：2,000円 ユース1,000円 (25歳以下、要証明書)

※当日券500円増 ※全席自由席

入場料 (前売・税込)：S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 ユース席1,000円 (25歳以下、要証明書)

※全席指定席 ※当日券 各500円増 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

第496回定期公演フィルハーモニー・シリーズ

9月20日(土) 14:00 開演 (13:00 開場)
石川県立音楽堂コンサートホール
 指揮：広上淳一 (OEK アーティスト・リーダー)
 ピアノ：トム・ボロー
 ベートーヴェン /
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」
 交響曲 第6番 ヘ長調「田園」



[全席指定] SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,500円 C席3,000円 25歳以下当日半額

越前公演 9月19日(金) 18:30 開演 (17:30 開場) 越前市文化センター
 [全席指定] S席6,000円 A席5,000円

岐阜公演 9月21日(日) 14:00 開演 (13:30 開場) サラマンカホール
 [全席指定] S席5,500円 A席4,500円 学生半額 (30歳まで)

大阪公演 9月23日(火・祝) 14:00 開演 (13:00 開場) ザ・シンフォニーホール
 [全席指定] A席6,000円 B席4,500円 C席3,000円

上越公演 9月26日(金) 18:30 開演 (17:30 開場) 上越文化会館
 [全席指定] S席6,000円 A席5,000円

第497回定期公演
マイスター・シリーズ

10月4日(土) 14:00 開演
石川県立音楽堂コンサートホール
 指揮：川瀬賢太郎 (OEK パーマネント・コンダクター)
 フルート：マトヴェイ・デミン
 ハープ：高野麗音
 ソプラノ：種谷典子
 モーツァルト /
フルートとハープのための協奏曲 ハ長調
 マラー / 交響曲 第4番 ト長調



[全席指定] SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,500円 C席3,000円 25歳以下当日半額

第498回定期公演
フィルハーモニー・シリーズ

10月24日(金) 19:00 開演
石川県立音楽堂コンサートホール
 指揮：ピエール・デュムソー
 ピアノ：務川慧悟
 プロコフィエフ /
ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調
 ストラヴィンスキー /
バレエ組曲「火の鳥」(1919年版) ほか



セントラル愛知交響楽団

<https://www.caso.jp/>

お問合せ 052-581-3851

会場：愛知県芸術劇場コンサートホール 各日13:45開場/14:30開演

※ U25 席は公演当日に 25 歳以下対象、要身分証明書、未就学児入場不可。

チケットシステム
24時間お申し込み可能



第213回定期演奏会「渾身のブルックナー」

2025年9月20日(土)
 指揮 / 下野竜也 メゾ・ソプラノ / 池田香織 *
 ワークナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」より
「前奏曲と愛の死」*
 ブルックナー：交響曲第4番 変ホ長調 WAB104
「ロマンティック」(ハース版)



プラチナ席7,000円 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円
 C席2,000円 U25各席半額

超！有名曲シリーズ Vol.12

2025年10月18日(土)
 指揮 / 松尾葉子 (特別客演指揮者) オルガン / 吉田文 *
 ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」Op.9
 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」組曲 (1919年版)
 サン＝サーンス：交響曲第3番ハ短調 Op.78,
R.176「オルガン付」*



S 席 5,000 円(ペア券 7,000 円) A 席 4,000 円(ペア券 5,600 円)
 B 席 3,000 円 C 席 2,000 円 U25 各席半額 (ペア券対象外)
 ※ペア席は前売のみ、数量限定。位置指定あり。

第214回定期演奏会「アメリカのロマン主義」

2025年11月8日(土)
 指揮 / 角田鋼亮 (音楽監督)
 ピアノ / ニコライ・クズネツォフ *
 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 二短調 Op.30*
 バーバー：弦楽のためのアダージョ Op.11
 ハンツン：交響曲第2番 Op.30「ロマンティック」



プラチナ席7,000円 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円
 C席2,000円 U25各席半額

中部フィルハーモニー交響楽団

<https://chubu-phil.com/>

お問合せ 0568-43-4333

第100回記念定期演奏会 NAGOYAシリーズ2
追憶のアダージェット

11月9日(日) 開演15:00 (開場14:15)
愛知県芸術劇場コンサートホール

指揮 / 大植英次
 ヴァイオリン・ソロ / 北川千紗 *
 コルンゴルト：
ヴァイオリン協奏曲 二長調
作品 35*
 マラー：
交響曲 第5番 嬰ハ短調
 ※当初より曲目が変更となりました。



チケット発売中 全席指定

事務局購入 セレクトプラチナ席8,000円、プラチナ席7,000円、
 S席6,000円、A席4,500円、B席3,500円
 WEB 購入 セレクトプラチナ席7,000円、プラチナ席6,000円、
 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、
 U-25 1,500円 ※25歳以下 (S、A、B席のみ)

※車イス席あり。詳しくは中部フィル事務局までお問い合わせください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※各施設により休館日および販売時間が異なりますのでご注意ください。

【その他のチケットお取扱扱い】 チケットぴあ (店頭購入：セブン・イレブン / WEB 購入) 芸文プレイガイド TEL.052-972-0430 Boo-Woo チケット、ローチケ (ジブリのみ)

Chubu フィルム・サウンズ・オーケストラ
「シンフォニック・アニメ」
～ジブリがいっぱい！オーケストラ・パークⅡ～
小牧・松阪・豊川・高山特別演奏会

8月 9日(土)小牧市市民会館大ホール
8月10日(日)クラギ文化ホール(三重県松阪市)
8月17日(日)豊川市文化会館大ホール
9月27日(土)高山市文化会館
開演15:00 (開場14:15)

指揮 / 竹本泰蔵 ピアノ / CHIaki (ソロ・ピアニスト)
 管弦楽 / Chubu フィルム・サウンズ・オーケストラ
「となりのトトロ」 「もののけ姫」 ほか



チケット発売中 全席指定

事務局購入 小牧公演、松阪公演 プラチナ席5,000円、S席4,000円、A席3,000円
 U-25 2,500円、豊川公演 一般5,000円
 WEB 購入 小牧公演、松阪公演 各席種別割引あり、U-25 2,000円、豊川公演 各席種別割引あり

室内楽シリーズ
Vol.4 弦楽セレナーデ

9月19日(金)
開演18:45 (開場18:15)
電気文化会館 ザ・コンサートホール

モーツァルト：
ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137
 クリグ：
組曲「ホルベアの時代」より 作品 40
 ドヴォルザーク：
弦楽セレナーデ ホ長調 作品 22 B52

チケット発売中 全自由席

事務局購入 一般3,500円
 WEB 購入 一般3,000円
 U-25 1,500円
 ※25歳以下



アマビレフィルハーモニー管弦楽団

<https://amabile-phil.com/>

お問合せ 072-648-5874

コンチェルトシリーズvol.22～秋宵の幻想～

チケット料金：全席自由 一般3,500円 楽団会員3,000円 学生1,000円 ※税込 ※未就学児入場不可
 事務局ほか、茨木市文化振興財団 072-625-3055 電子チケット販売サイト「teket」でも好評発売中！

2025年9月26日(金) 19時開演(18時開場)
茨木市市民総合センター(クリエイティブセンター)センターホール

指揮：佐々木新平 メンデルスゾーン / 真夏の夜の夢 序曲 ホ長調 Op.21 MWV P3
 ピアノ：塚本美香 モーツァルト / 交響曲第35番 二長調 K.385「ハフナー」
 ブラームス / ピアノ協奏曲第1番 二短調 Op.15



指揮：
佐々木新平

ピアノ：
塚本美香

定期演奏会「肖像」シリーズ

【会場】愛知県芸術劇場コンサートホール 【開演】[金]18:45 [土]16:00

【チケット料金】SP席:¥14,000 P席:¥10,500 S席:¥7,000 A席:¥6,000 B席:¥5,000 C席:¥4,000 D席:¥3,000

第537回定期演奏会(死にゆく者の肖像)

2025年9月5日(金) / 6日(土)

川瀬賢太郎 (指揮/名フィル音楽監督)

青木涼子 (能声楽) *

ラフマニノフ: 交響詩『死の鳥』作品 29

小出雅子 (名フィル コンポーザー・イン・レジデンス):

Junction [委嘱新作・世界初演] *

チャイコフスキー: 交響曲第6番短調 作品74『悲愴』



第538回定期演奏会(野人の肖像)

2025年10月10日(金) / 11日(土)

トーマス・ダウスゴー (指揮)

ブルックナー:

交響曲第8番ハ短調 [1890年稿]



第539回定期演奏会(権力者の肖像)

2025年11月14日(金) / 15日(土)

小泉和裕 (指揮/名フィル名誉音楽監督)

中野りな (ヴァイオリン) *

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品35*

ショスタコーヴィチ: 交響曲第10番ハ短調 作品93

富士山静岡交響楽団 <https://www.shizukyo.or.jp/>お問合せ 054-203-6578
(9:30~17:30 / 土日祝休)

定期演奏会

【会場】● 静岡公演: 静岡市清水文化会館マリナート 大ホール ● 浜松公演: アクトシティ浜松 中ホール

【開演】13:30

第133回



シューベルト/
交響曲第4番ハ短調 D.417「悲劇的」
交響曲第8番ハ長調 D.944「ザ・グレート」

静岡 9/13 土

各公演 チケット【全席指定(税込)】

第134回



ラヴェル/組曲「クープランの墓」
ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調
フランク/交響曲ニ短調 FWV48

静岡 11/15 土

各公演 チケット【全席指定(税込)】

第135回



ストラヴィンスキー/弦楽のための協奏曲ニ調
シューマン/ピアノ協奏曲イ短調 op.54
チャイコフスキー/交響曲第4番ハ短調 op.36

静岡 2/22 日

各公演 チケット【全席指定(税込)】

浜松 2/23 月・祝

※当日500円増(学生を除く) ※未就学児入場不可 ※学生は25歳以下の大学生まで

京都市交響楽団 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

お問合せ 075-222-0347

共に響き合う、京響 City of Kyoto Symphony Orchestra

会場:京都コンサートホール・大ホール

第704回定期演奏会

チケット発売中!

沖澤のどかの指揮で聴く「シェエラザード」
石田泰尚のソロにも注目

2025年9/19(金) 19:00 開演

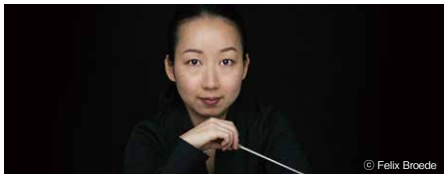
2025年9/20(土) 14:30 開演

指揮: 沖澤のどか (常任指揮者)

L. フランク: 交響曲第3番ト短調 op.36

リムスキー・コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」 op.35

[ヴァイオリン: 石田 泰尚 (京響ソロコンサートマスター)]



第705回定期演奏会

2025. 8/29(金)からチケット発売!

フランスの俊英デュムソーを迎えて
人気のサクソフォン奏者 上野耕平が京響定期へ初登場!

2025年10/11(土) 14:30 開演

指揮: ビエール・デュムソー

サクソフォン: 上野 耕平*

ビエルネ:「ラムンチョ」序曲

トマジ: パラードーサクソフォンと管弦楽のための*

ショスタコーヴィチ: 交響曲第10番ハ短調 op.93



■入場料

S: 6,000円 A: 5,500円 B: 4,500円
C: 3,500円 P: 3,000円

U30 (前売)

S: 2,500円 A: 2,000円 B: 1,500円

金曜ペアチケット (9/19 公演)

S: 10,000円 A: 9,000円

B: 8,000円

■チケットご予約

京都コンサートホール・チケットカウンター
TEL (075) 711-3231

24時間オンラインチケット購入

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>■京都市交響楽団
オフィシャル・
ホームページザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 <https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/>お問合せ 06-6334-2242
コンサート・センター(平日9時~16時、土日祝休み)

第67回定期演奏会

2025年11月9日(日)開演14:00

会場:ザ・カレッジ・オペラハウス(大阪府豊中市)

“Concert'Opera” ~音楽とお芝居、映像の新しいかたちのコンサート・オペラ

J. ハイドン / 歌劇「月の世界」全3幕 原語上演 字幕付 <関西初演>



チケット販売開始: 8月19日(火) 13:00

入場料: 全指定席 4,500円(税込)

*高校生以下の方は無料招待いたします。*コンサート・センターは臨時に閉室することがあります。
*やむを得ない事情により、出演者が変更になる場合があります。予めご了承ください。
*未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます

指揮: 粟辻 聡
演出: 井原 広樹
ボナフェーデ: 桒 貴志
エックリーティコ: 清原 邦仁
リゼッタ: 村岡 瞳
フラミーニア: 野口 真瑚
クラリーチェ: 梨谷 桃子
エルネスト: 大賀真理子
チェッコ: 谷口 耕平



楽団創立45周年記念シリーズ

第282回定期演奏会

【創立45周年記念】

2025年9月28日(日)

15:00 開演(14:00 開場) 14:45 ~プレトーク

会場：ザ・シンフォニーホール

指揮：山下一史(常任指揮者)

ソプラノ：森谷真理 メゾ・ソプラノ：林 美智子 テノール：笛田博昭

バス：伊藤貴之 合唱：大阪響コーラス 合唱指揮：中村貴志

ヴェルディ：死者のためのミサ曲「レクイエム」

料金／S席 6,500円、A席 5,500円、B席 4,000円、C席 2,500円、
オルガン席 2,000円、青少年学生券 1回券 1,000円 5回券 4,000円
※青少年学生券は楽団のみ取り扱い。当日座席指定。25歳までの学生のみ有効。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催／公益社団法人大阪交響楽団 特別協賛／大和ハウス工業株式会社



指揮：
山下一史



ソプラノ：
森谷真理



メゾ・ソプラノ：
林美智子



テノール：
笛田博昭



バス：
伊藤貴之

大阪フィルハーモニー交響楽団 <https://www.osaka-phil.com/>

お問合せ 06-6656-4890

I 9月10日(水)午後7時
バレエ音楽「プロメテウスの創造物」
作品43 序曲
交響曲 第1番 ハ長調 作品21
交響曲 第2番 ニ長調 作品36

II 11月13日(木)午後7時
交響曲 第4番 変ロ長調 作品60
交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

III 12月11日(木)午後7時
交響曲 第6番 ヘ長調 作品68「田園」
交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

ザ・シンフォニーホール特別演奏会

ベートーヴェン・
チクルス
～原点にして頂点～



指揮：尾高忠明

IV 2026年1月28日(水)午後7時
交響曲 第8番 ヘ長調 作品93
交響曲 第7番 イ長調 作品92

V 2026年2月23日(月・祝)午後2時
交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」
独唱：森谷真理(ソプラノ) 林真咲(アルト)
村上公太(テノール) 平野和(バリトン)
合唱：大阪フィルハーモニー合唱団
(合唱指導：福島章泰)

会場：ザ・シンフォニーホール

5回セット券発売中

Aセット 23,000円 Bセット 17,000円

1回券 A席 6,000円 B席 4,500円 C席 3,500円

(全席指定・税込)

1回券発売日 I 7月22日(火) II III 9月24日(水) IV V 11月25日(火) ※未就学児入場不可

お問合せ：大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (月～金10:00～18:00・土10:00～13:00・日祝休) ◆各プレイガイドでも発売中!

関西フィルハーモニー管弦楽団 <https://kansaiphil.jp/>

お問合せ 06-6115-9911

第358回定期演奏会

煌びやかな饗宴…辻とマテューのデュオ & 富田の《オルガン付》

9月15日(月・祝) 14:00 開演(13:00 開場)

会場：ザ・シンフォニーホール

指揮 & ヴィオラ：マテュー・ヘルツォーク

ヴァイオリン：辻 彩奈 オルガン：富田 一樹

ベートーヴェン：「エグモント」序曲

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲

サン＝サーンス：交響曲第3番「オルガン付」

※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

チケット発売中 6,500円(S) 5,000円(A) 3,500円(B)
2,500円(C) 1,000円(学生/25歳以下)

協賛：阪急電鉄株式会社 株式会社三晃空調 特別協賛：ダイキン工業株式会社



指揮 & ヴィオラ
マテュー・ヘルツォーク



ヴァイオリン
辻 彩奈



オルガン
富田 一樹

テレマン室内オーケストラ <http://www.cafe-telemann.com/>

お問合せ 06-6345-1046

第319回定期演奏会

延原武春プロデュース ウィーン式ヒストリカル・コンサート

日時 2025年10月10日(金) 18時開演

会場 大阪市中央公会堂中集會室

演目 F.J. ハイドン：交響曲第94番「驚愕」、クラヴィア協奏曲

J.C. バッハ：協奏交響曲より / L.v. ベートーヴェン：七重奏曲(フンメル編曲版)より

W.A. モーツァルト：歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」よりアリア ほか

出演 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 チェロ：鷺見敏

フルート：森本英希 ソプラノ：中村朋子 テレマン室内オーケストラ Classic

料金 前売 ¥5,500 当日 ¥6,000



日本テレマン協会
since 1963



第292回定期演奏会

北摂定期演奏会
～高槻公演～

第293回定期演奏会

センチュリー
豊中名曲シリーズ Vol.35
「鳥」眠りながら飛ぶ

2025年9月26日(金) 19:00開演 2025年9月27日(土) 14:00開演
会場:ザ・シンフォニーホール 会場:高槻城公園芸術文化劇場
南館 トリシマホール

2025年10月24日(金)19:00開演
会場:ザ・シンフォニーホール
指揮:太田 弦
アコーディオン:かとう かなこ* 語り:寺田 光*
ベートーヴェン:交響曲 第2番 ニ長調 作品36
武満 徹:波の盆
武満 徹(岩城宏之編曲):
糸図 - 若い人たちのための音楽詩 -* (小管弦楽版)

2025年9月13日(土) 15:00開演
会場:豊中市立文化芸術センター
大ホール
指揮:出口 大地 ギター:猪居 亜美
レスピーギ:組曲「鳥」P.154
吉松 隆:ギター協奏曲「天馬効果」作品21
ブラームス:交響曲 第3番 ハ長調 作品90

指揮:久石 譲 合唱:日本センチュリー合唱団*
久石 譲:シンフォニア ～室内オーケストラのための～ から
第3楽章 ディヴェルティメント
ベートーヴェン:交響曲 第1番 ハ長調 作品21
ラヴェル:ダフニスとクロエ 第2組曲*
ラヴェル:ボレロ



【第292回定期】S:10,000円(特典付き) A:7,000円 B:5,500円 C:4,000円 D:3,000円
【北摂定期】S:4,500円 A:3,500円 B:2,500円

【チケット料金】S:10,000円(特典付き) A:7,000円
B:5,500円 C:4,000円 D:3,000円

【チケット料金】
S:4,500円 A:3,500円 B:2,500円

ご予約・お問合せ/センチュリーチケットサービス TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00) <https://www.jcso.or.jp/ticket/>

兵庫芸術文化センター管弦楽団

<https://hpac-orc.jp/>

お問合せ 0798-68-0203

兵庫県立芸術文化センター開館20周年記念

第162回定期演奏会

佐渡裕 渾身のオール・ブルックナー!

2025年9月12日(金) 13日(土) 14日(日)
指揮:芸術監督/佐渡 裕 ソプラノ/並河寿美
メゾ・ソプラノ/清水華澄 テノール/小原啓楼 バリトン/青山 貴
合唱指揮/矢澤定明 合唱/ブルックナー「テ・デウム」合唱団
＜オール・ブルックナー・プログラム＞
交響曲 第0番 ニ短調 WAB100
合唱曲「キリストは従順であられた」 WAB11
テ・デウム WAB45



第163回定期演奏会

アンドレアス・オッテンザマー
「ザ・グレート」

2025年10月10日(金) 11日(土) 12日(日)
指揮/アンドレアス・オッテンザマー
ヴァイオリン/ヴェロニカ・エーベルレ
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64
シューベルト:
交響曲第8(9)番 ハ長調 D944「ザ・グレート」



第164回定期演奏会

サッシャ・ゲッツェル×河村尚子
ベートーヴェン&ブラームス

2025年11月7日(金) 8日(土) 9日(日)
指揮/サッシャ・ゲッツェル
ピアノ/河村尚子
モーツァルト:交響曲 第1番 変ホ長調 K.16
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58
ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 op.68



各日 15:00 開演 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール チケット料金: A 5,000円/B 4,000円/C 2,500円/D 1,000円(全席指定/税込)

【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

広島交響楽団 <http://hirokkyo.or.jp/>

お問合せ 082-532-3080

第454回定期演奏会

2025年9月20日(土) 15:00 開演
指揮/尾高忠明
ホルン/シュテファン・ドール
リヒャルト・シュトラウス:
ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調
シベリウス(生誕160年):
4つの伝説曲作品22
(レンミンカイネン組曲)



第455回定期演奏会

2025年10月24日(金) 18:45 開演
指揮/クリスティアン・アルミンク
チェロ/スティーヴン・イツァーリス
細川俊夫:
《森のなかで》室内オーケストラのための
(日本初演)
ドヴォルザーク:チェロ協奏曲短調作品104
マルティヌー:交響曲第5番 H.310



第456回定期演奏会

2025年11月22日(土) 15:00 開演
指揮:ハンヌ・リントウ
ヴァイオリン:庄司紗矢香
シューマン:ヴァイオリン協奏曲ニ短調
フランク・シュミット:交響曲第4番ハ長調



シン・ディスカバリー・シリーズ

被爆80周年(ヒロシマとモーツァルト)第3回
2025年10月31日(金)18:45 開演
指揮/クリスティアン・アルミンク
大木正夫:交響曲第5番「ヒロシマ」
モーツァルト:
交響曲第41番ハ長調 K.551
「ジュピター」



会場:広島文化学園 HBG ホール チケット料金 S:5,800円 A:5,200円 B:4,500円(学生:1,500円)

JMS アステールプラザ大ホール
チケット料金:S:5,800円 A:4,800円
B:3,800円(学生:1,500円)

神戸市室内管弦楽団

<https://www.kobe-ensou.jp/ensemble/>

お問合せ 078-361-7241

ドイツの名匠ボンマーが描く、印象派&後期ロマン派

第169回定期演奏会「萌えたつブルックナー」

2025年9月20日(土) 15:00開演
会場:神戸文化ホール大ホール
指揮:マックス・ボンマー 管弦楽:神戸市室内管弦楽団
ドビュッシー/カプレ:組曲《子供の領分》L.113
リスト:リヒャルト・ワーグナーの墓に S.135
ブルックナー:交響曲 第1番 ハ短調 WAB101
(1868年リッツ編・レーダー版)



神戸だからこそ実現する、前代未聞のベートーヴェン2days
指揮:鈴木秀美 ソプラノ:中江早希 アルト:布施奈緒子 テノール:櫻田 亮
バス:水見健一郎 管弦楽:神戸市室内管弦楽団 合唱:神戸市混声合唱団
両日 15:00開演 会場:神戸文化ホール大ホール
神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団
合同定期演奏会「ミサ・ソレムニス」

2025年11月15日(土)
ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス(荘厳ミサ曲) バートーヴェン:交響曲 第9番
ニ長調 作品123
入場料[全席指定]:ダブルリブル通し券:S席通し券 8,000円 A席通し券 3,600円
1公演券:S席各 5,000円 A席各 2,000円 U25(25歳以下) 1,000円



チケットに関するお問い合わせ先 神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349 ※やむを得ず出演者を変更する場合があります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

第433回定期演奏会



2025年9月15日(月・祝) 午後3時開演
アクロス福岡シンフォニーホール

指揮 太田 弦
ホルン 福川 伸陽 テノール 鈴木 准

ブリテン/
歌劇「ピーター・グライムズ」より 4つの海の間奏曲 作品 33a
ブリテン/テノール、ホルンと弦楽のためのセレナード 作品 31
エルガー/独創主題による変奏曲「エニグマ」作品 36

【チケット料金】S席:5,900円、A席:4,900円、B席:3,700円、学生:1,500円
車椅子席(限定4席):3,700円

※学生料金でのお求めはB席のみ対象となります。

チケットお問い合わせ: 九響チケットサービス ☎ 092-823-0101

奈良フィルハーモニー管弦楽団 <http://naraphil.com/>

お問合せ 0743-57-2235

奈良フィルハーモニー管弦楽団40周年・奈良フィルハーモニー混声合唱団25周年特別公演

2025 9/14日 奈良県橿原文化会館 大ホール 近鉄八木駅徒歩3分 14:00 開演 (13:30 開場)

入場料(全席自由) 前売 2,000円 当日 2,500円

お問い合わせ: 奈良フィル事務局 / TEL 0743-57-2235 FAX 0743-56-5666 mail naraphil@eto.eonet.ne.jp

2025 8.31日 14:00開演 / 13:30開場

会場 DMG MORI やまど郡山城ホール・大ホール (近鉄郡山駅徒歩7分)

W.A.モーツァルト

曲目

- ・交響曲第39番変奏長調K.543
- ・交響曲第40番短調K.550
- ・交響曲第41番ハ長調「ジュピター」K.551

指揮 栗辻 聡 So Awatsuji

※未就学児の入場はご遠慮ください

岡山フィルハーモニック管弦楽団 <https://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>

お問合せ 086-234-7177

第86回定期演奏会

10月19日(日) 14:00 開演 倉敷市民会館

指揮/高関 健 ピアノ/児玉麻里

リスト/交響詩「前奏曲」
リスト/ピアノ協奏曲第1番
バルトーク/管弦楽のための協奏曲

S 5,500円 A 4,400円
B 3,300円 B1-ス 1,000円



特別演奏会

12月14日(日) 14:00 開演 岡山芸術創造劇場ハレノワ中劇場

コンサートマスター・ソリスト/福田 廉之介
モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク
モーツァルト/ディヴェルティメント K.136
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番
ドヴォルザーク/弦楽セレナード

S 5,500円 ユ-ス 1,000円



*ユ-スは19歳以下および25歳以下の学生対象です。チケットの問合せ: 岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010

瀬戸フィルハーモニー交響楽団 <http://setophil.or.jp/>

お問合せ 087-822-5540

第43回定期演奏会

2025年9月28日(日) 14:00 ~ 16:00
サンポートホール高松 大ホール

指揮: アレクシス・ソリアーノ ギター: ダビ・マルティネス・ガルシア
管弦楽: 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

ホアキン・ロドリゴ作曲 アランフェス協奏曲

マスエル・デ・ファリャ作曲 バレエ音楽「恋は魔術師」組曲 ほか

主催: 公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団 共催: 高松市 お問い合わせ先: info@setophil.ne.jp

チケット全席指定
S席 ¥4,000
A席 ¥3,500
学生席 ¥1,500

長崎OMURA室内合奏団 (NOCE) <https://omurace.or.jp/>

お問合せ 0957-47-6537 (平日9:00~16:00)

定期演奏会 名曲コンサートシリーズ ~偉大なる作曲家バッハに寄せて~



松原勝也(コンサートマスター)
長崎 OMURA 室内合奏団

J.S. バッハ/松原勝也編曲: シャコンヌ BWV 1004/5

J.S. バッハ/ブランデンブルグ協奏曲第5番 ニ長調 BWV1050

メンデルスゾーン/交響曲第3番 イ短調 Op.56「スコットランド」

【チケット料金】大人 4,000円 学生 1,000円 お問い合わせ先 Email: oce02@omurace.or.jp

♪第25回長崎公演

12月11日(木) 19:00開演
長崎市民会館・文化ホール

♪第40回大村公演

12月12日(金) 19:00開演
シーハットおおむら・さくらホール

☆大村公演は、テレビマンユニオンMember's TVU CHANNELにて、有料ライブ配信いたします。



指揮者の情報

4月より、日本センチュリー交響楽団の音楽監督に久石譲氏が就任しました。

4月より、札幌交響楽団の首席指揮者にエリアス・グランディ氏が就任しました。

4月より、大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者に松本宗利音氏が就任しました。

4月より、オーケストラ・アンサンブル金沢のパーマネント・コンダクターに松井慶太氏が就任しました。

コンサートマスターの情報

4月より、NHK 交響楽団の第1コンサートマスターに長原幸太氏が就任しました。

9月より、東京交響楽団の第1コンサートマスターに景山昌太郎氏が就任されます。

国際オーケストラ連盟 アライアンス Web 会議開催

International Alliance of Orchestra Associations - IAOA

5月2日（金）21時より2時間にわたり Web 会議を開催いたしました。

参加者はアメリカ、英国、スイス、デンマーク、フィンランド、フランス、南米のオーケストラ連盟やクラシック音楽の国際機関のスタッフ計15名でした。コロナ禍を経たオーケストラの聴衆動向や、状況の多様化が進んでいる事、ペルナンブコ規制の問題、フェスティバルやコンサートの広報で強調されている情報の変化など、国を俯瞰した動向が報告され、意見交換がなされました。アメリカ・オケ連からは定期公演へ“行き放題”なチケット販売方法が生まれているという報告があり、中南米16か国より70楽団が参加している連盟からの参加もありました。

表彰・受賞の情報

第56回（2024年度）サントリー音楽賞に山田和樹氏

2009年のブザンソン国際指揮者コンクール優勝以来、国内外の主要オーケストラとの共演を重ね日本を代表する指揮者として確固たる地位を築いてこられた山田和樹氏が、第56回サントリー音楽賞を受賞されました。2024年2月に行われた読売

日本交響楽団の定期演奏会をはじめ、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の来日公演などが高く評価されました。

第34回出光音楽賞を金川真弓（ヴァイオリン）、北村 陽（チェロ）、宮里直樹（テノール）の3名が受賞

「題名のない音楽会」の25周年を記念して、将来有望な新進気鋭の音楽家を支援すべく創設された「出光音楽賞」。それぞれの高い音楽性と将来性が評価され、上記3名が受賞されました。今後のさらなる飛躍が期待されます。

訃 報

当連盟名誉会長 児玉幸治さん



2016年第11回アジア太平洋地域オーケストラ・サミット開会を宣言される児玉理事長（当時）

2002年から2018年まで当連盟理事長として、2018年からは会長・名誉会長としてご尽力いただきました児玉幸治さんが4月26日に御逝去されました。90歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

音楽を心より愛されていることが、お話しされる端々からこんこんと伝わってくるほどで、厳しい局面でも常に穏やかに受け止めて下さり、オーケストラをまとめ、前へと導いて下さいました。多大なるご貢献を賜り、ご功績は計り知れません。

7月22日（火）にはアークヒルズクラブでご家族主催による「偲ぶ会」が開催され、広島交響楽団のご協力のもと下記メンバーによる献奏をお届けして参りました。

ヴァイオリン 篠原悠那
（センチュリー響客員コンサートマスター）
北田千尋（広響コンサートマスター）

ヴィオラ 中 恵菜
チェロ 矢部優典（N響）
ピアノ 竹澤勇人

【賛助会員】

●法人会員

オリックスグループ
キッコーマン株式会社
公益財団法人日本製鉄文化財団
株式会社日本旅行
公益財団法人ローム ミュージック ファン
デーション

●個人会員

黒田康裕（敬称略、五十音順）

*連盟の活動をご理解いただき支援してくださる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いしています。

【加盟40団体】

〈正会員〉

札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
NHK交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
パシフィックフィルハーモニア東京
読売日本交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
富士山静岡交響楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
京都市交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団

〈準会員〉

千葉交響楽団
藝大フィルハーモニア管弦楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
愛知室内オーケストラ
京都フィルハーモニー室内合奏団
アマービレフィルハーモニー管弦楽団
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
テレマン室内オーケストラ
神戸市室内管弦楽団
奈良フィルハーモニー管弦楽団
岡山フィルハーモニック管弦楽団
瀬戸フィルハーモニー交響楽団
長崎 OMURA 室内合奏団



本誌は、環境に配慮して
FSC®森林認証紙(ECFパルプ)
を使用しています。



日本オーケストラ連盟ニュース第117号 2025年7月31日発行

発行所●公益社団法人 日本オーケストラ連盟

編集・発行人 望月正樹 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F
Tel:03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp/>

印刷●錦明印刷株式会社 制作●林 僚子